

# marantz®

**Model NA-11S1 取扱説明書**

---

Network Audio Player

# ご使用になる前に

ご購入いただきありがとうございます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

## 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



### ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。  
必ず実施 火災・感電の原因となります。



### 電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



### 電源プラグの刃および刃の付近にはほこりや金属物が付着しているときは

必ず実施 電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



### 火や炎を近づけない

火気禁止 本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。



### 内部に水などの液体や異物を入れない

禁止 機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。



### 水滴や水しぶきのかかるところに置かない

水ぬれ禁止 雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。



### ねじを外したり、分解や改造したりしない

分解禁止 内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



### 雷が鳴り出したら

接触禁止 機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



### 使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

接触禁止 使用中、使用直後は上面や高温注意マークの面には触れないでください。機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。



高温注意



### 乾電池は充電しない

禁止 電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



### 風呂・シャワー室では使用しない

水場での使用禁止 火災・感電の原因となります。



### この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

水ぬれ禁止 こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

# ⚠️ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**⚠️ 注意**  
**付属の電源コードを使用する**  
 他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。  
 また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。  
 電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

**🚫 禁止**

**⚠️ 必ず実施**  
**電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない**  
 電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。  
 根元まで差し込んでゆりみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

**🚫 禁止**

また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**電源コードを熱器具に近付けない**  
 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**電源プラグを抜くときは**  
 電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

**🚫 ぬれ手禁止**  
**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**  
 感電の原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する**  
 電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。  
 万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

**🔌 電源プラグをコンセントから抜く**

**⚠️ 必ず実施**  
**機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう**  
 テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。

また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

**⚠️ 必ず実施**  
**電源を入れる前には音量を最小にする**  
 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

**⚠️ 必ず実施**  
**電池を使用するときは**

- 極性表示に注意し、表示のとおり正しく入れる。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 電池は火のそばや直射日光のあたるところ、暖房器具などの高温の場所に置かないでください。

● 不要になった乾電池を廃棄するときはお住まいの地域の条例に従って処理してください。間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**不安定な場所に置かない**  
 ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**次のような場所には置かない**  
 火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になる場所

**⚠️ 必ず実施**  
**壁や他の機器から少し離して設置する**  
 放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**通風孔をふさがない**  
 内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

**🚫 禁止**  
**長時間音が歪んだ状態で使用しない**  
 スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない**  
 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

**🚫 禁止**  
**この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない**  
 特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**重いものをのせない**  
 機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。パネルがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

**🔌 電源プラグをコンセントから抜く**  
**移動させるときは**  
 まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

**🔌 電源プラグをコンセントから抜く**  
**長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは**  
 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

**⚠️ 注意**  
**5年に一度は内部の掃除を**  
 販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

# 目次

ご使用になる前に	2
安全上のご注意	2
目次	4
使用上のご注意	5
付属品を確認する	5
本機の特徴	6
リモコンについて	7

## 準備編 8

接続のしかた	9
アナログ接続	9
デジタル接続	10
パソコンとの接続	10
ホームネットワーク(LAN)に接続する	11
その他の接続	12
リモートコントロール端子	12
電源コードを接続する	13
設定のしかた	14
メニュー 一覧	14
初期設定 [Quick Setup]	15
一般的な設定 [General]	15
ネットワークの設定 [Network]	18
オーディオの設定 [Audio]	21

## 操作編 23

操作のしかた	24
準備	24
再生中のできる操作	24
ネットワークオーディオを再生する	26
お気に入り機能	29
iPod の再生	30
USB メモリーを再生する	32
AirPlay 機能	34
Remote play 機能	36
ウェブコントロール機能	37
D/A コンバーター機能で再生する	39
その他の機能	40

## 情報編 42

各部の名前	43
フロントパネル	43
リアパネル	43
リモコン	44
その他の情報	45
iPod について	45
USB メモリーについて	45
ネットワークオーディオについて	46
用語の解説	48
故障かな?と思ったら	49
保証と修理について	51
マイコンの初期化	52
主な仕様	52

### ステレオ音のエチケット



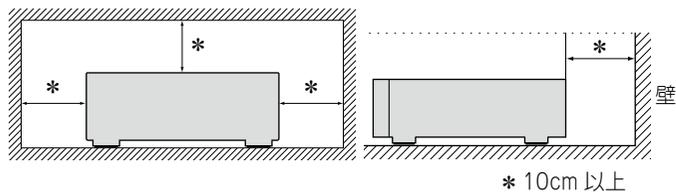
音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

## 使用上のご注意

### 設置について

本機内部の放熱をよくするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。



### 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

### 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1~2時間放置してから使用してください。

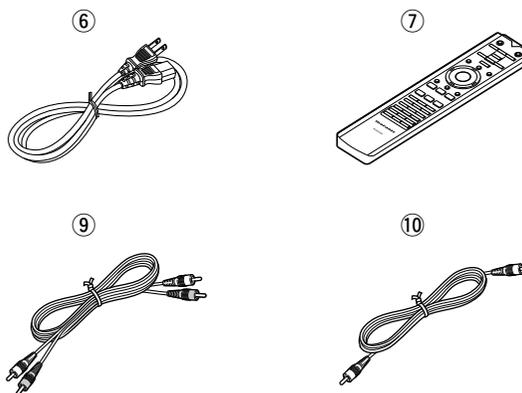
### 移動させる時のご注意

電源プラグをコンセントから抜いてください。  
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

## 付属品を確認する

ご使用前にご確認ください。

① 簡単セットアップガイド	1
② CD-ROM(取扱説明書)	1
③ 安全にお使いいただくために	1
④ 保証書(梱包箱に貼り付けています)	1
⑤ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内	1
⑥ 電源コード【本機専用】	1
⑦ リモコン(RC002NA)	1
⑧ 単4形乾電池	2
⑨ 音声ケーブル	1
⑩ リモートコントロール接続ケーブル	1



## 本機の特徴

### DSD ファイルの再生に対応

パソコンとの USB 接続により、DSD ファイルの再生に対応

### トロイダルトランス

電源トランス特有の振動と漏洩磁束の少ないトロイダル型電源トランスを搭載しました。リング状コアの材料と製造工程を厳しく管理することで振動を軽減し、トランス外周に取り付けられたコアリングとショートリングは、漏洩磁束を軽減しています。

### 大容量ブロックコンデンサ

回路には音質検討を重ねたオーディオ用 4700  $\mu$  F 大容量コンデンサを搭載しています。

### 高音質フィルムコンデンサ、電解コンデンサ

本機では、上級機にも使用している高音質フィルムコンデンサやオーディオ用電解コンデンサを採用しています。

### ディファレンシャル入力の HDAM によるローノイズ低歪フィルター回路と高速 HDAMSA2 送り出しアンプ

### ダブル・レイヤード・シャーシ

### 高級削り出しアナログ・オーディオ出力端子

### D/A コンバーターとして使用可能

外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機の D/A コンバーターでアナログ変換して出力できます。

### アナログ出力信号の位相反転が可能

バランス入力端子の仕様がヨーロッパ方式のアンプに本機 (U.S.A. 方式) をバランス出力する場合、端子の位相を切り替えて出力できます。

### オーディオ出力信号の影響を抑える周辺回路のオフ機能

本機から出力するアナログ音声信号に周辺回路からのノイズの流入を抑えるため、デジタル出力回路をオフにする機能や、ディスプレイとイルミネーションランプを消灯する機能を搭載しました。

### フィルター切り替え機能

再生時に、それぞれ 2 種類のフィルター特性を切り替えて音楽をお楽しみいただけます。

### インターネットラジオなどのネットワーク機能に加え、AirPlay<sup>®</sup> 機能を搭載 (P.34 ページ)

### DLNA (Digital Living Network Alliance) ver. 1.5 に準拠したネットワーク機能搭載

### High Quality Audio 再生に対応

WAV/FLAC/ALAC (Apple Lossless Audio Codec)

### Gapless 再生に対応

音楽ファイル間を途切れることなく再生 (WAV/FLAC のみ)

### iPod<sup>®</sup> を接続することで自動的に充電開始、充電完了後、本機の状態に合わせて消費電力を最適化するスマート充電コントロール (P.31 ページ)

### iPad<sup>®</sup>、iPhone<sup>®</sup> または Android スマートフォンで本機の基本的な操作がおこなえる“Marantz Remote App”に対応

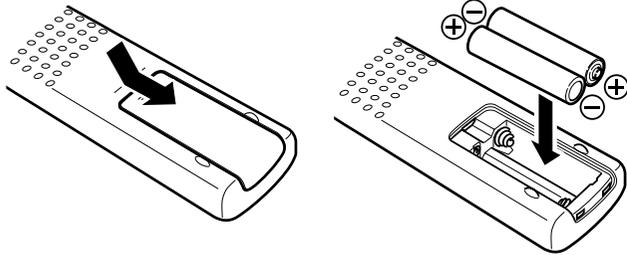
### 3行表示可能な有機 EL ディスプレイ搭載

### 電力消費をおさえるオートスタンバイモード

## リモコンについて

### 乾電池の入れかた

- ① 裏ぶたを矢印の方向に引き ② 単4形乾電池(2本)をそれぞれ乾電池収納部の表示どおりに入れる。



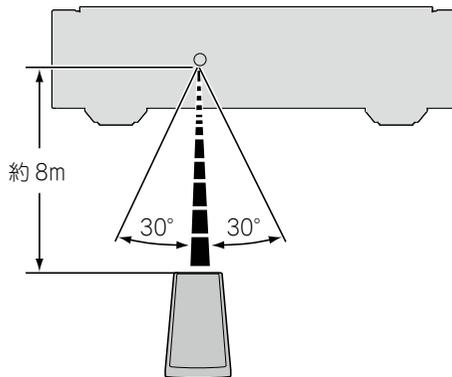
- ③ 裏ぶたを元のとおりにする。

#### ご注意

- リモコンには単4形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。(付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。)
- 乾電池をいれるときは、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
  - 電池を直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例にしたがって処理をしてください。
- 充電式電池をお使いの場合、正しく動作しない場合があります。

### リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。



#### ご注意

- リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線があたると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。
- 3D映像機器を構成している各ユニット(モニター、3D視聴用メガネ、3D信号伝送ユニットなど)間の信号の伝送を無線通信(赤外線通信など)でおこなっている3D映像機器をお使いの場合、その無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。そのときは3D通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。

### Marantz Remote App について

Marantz Remote App は iPhone、iPod touch および Android スマートフォン用に開発された独自のアプリケーションです。ご家庭の Marantz 製ネットワーク機器のコントロールをおこないません。このアプリをインストールするとお手持ちの iPhone、iPod touch および Android スマートフォンから本機の操作がおこなえます。



- 双方向通信をおこないません。
- Marantz Remote App は Apple App Store、Google Play Store から無料でインストールできます。

## 準備編

ここでは、本機の基本的な接続や操作方法について説明しています。

- 接続のしかた  [9 ページ](#)
- 設定のしかた  [14 ページ](#)

# 接続のしかた

## ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しく L と L、R と R を接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因になります。
- アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。

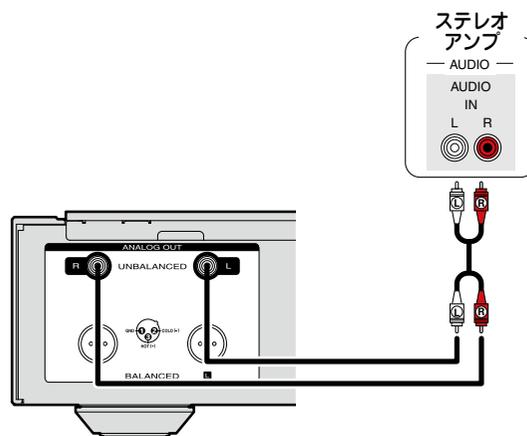
## 接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

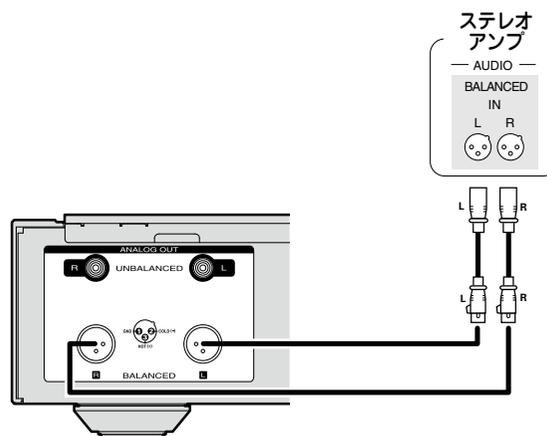
音声ケーブル(付属)	
オーディオケーブル	
ケーブル(付属)	
リモートコントロール接続ケーブル	
音声ケーブル(別売り)	
バランス音声ケーブル	
光伝送ケーブル	
同軸デジタルケーブル	
iPod ケーブル	
USB ケーブル	
ケーブル(別売り)	
LAN ケーブル	
モノラルミニプラグケーブル	

## アナログ接続

### アナログ接続 (アンバランス)



### アナログ接続 (バランス)



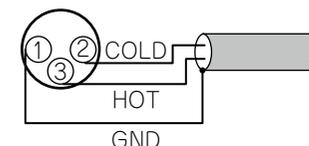
### □BALANCED 端子について

本機では BALANCED 端子に、プロフェッショナル用として広く採用されている XLR コネクターを使用しています。その特長は次のとおりです。

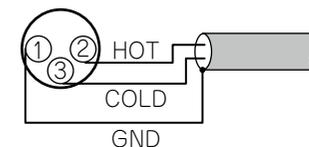
- 3 ピン構造のため、音楽信号を平衡信号で伝送でき、外来ノイズの影響が少ない
- 着脱ロック機構のため、コネクター部のぐらつきが少なく、信頼性が高い

XLR コネクターの接続方法は、プロフェッショナル用としてタイプが 2 通りあります。本機では、USA 方式を採用しています。

- USA 方式(② PIN=COLD ③ PIN=HOT)



- ヨーロッパ方式(② PIN=HOT ③ PIN=COLD)



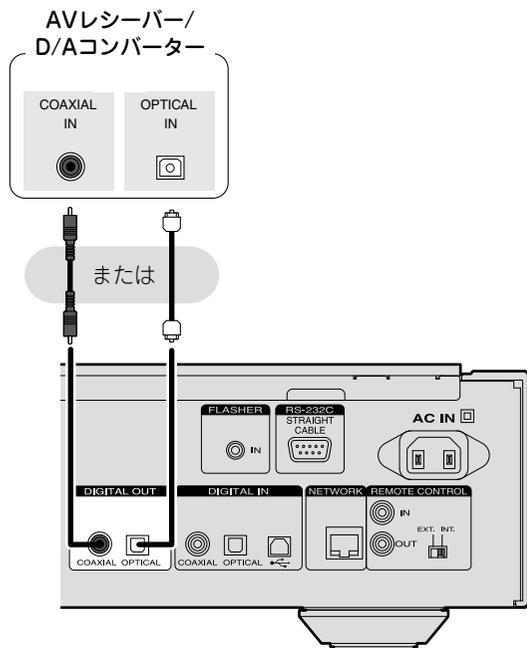
本機とヨーロッパ方式を採用している製品をバランス音声ケーブルで接続すると、信号が逆位相になります。信号の位相を正しくするには、メニューの“Phase”設定を“**Inverted**”に切り替えてください(☞22 ページ)。

## デジタル接続

接続する際、別売りの光伝送ケーブルまたは同軸デジタルケーブルをご使用ください。

### デジタル音声出力

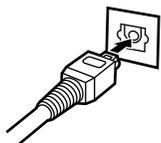
本機に AV レシーバーや D/A コンバーターなどのデジタル機器を接続すると、本機から出力するデジタル音声を楽しむことができます。



#### ご注意

- DSD 信号再生時には、デジタル音声出力が停止します。
- “Digital Out” メニューで、デジタル音声出力のオン / オフを設定できます (P.21 ページ)。

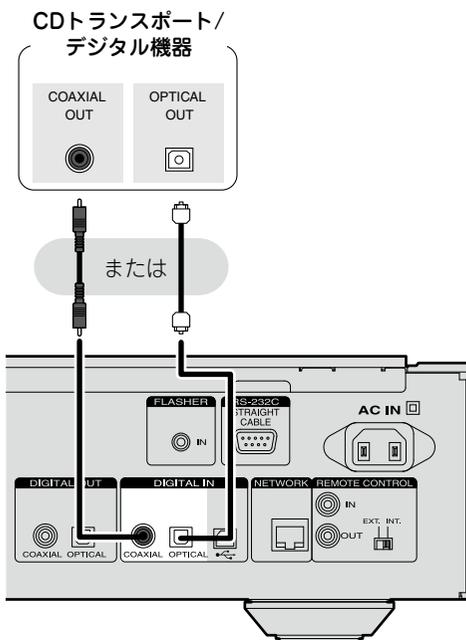
### デジタル出力端子(OPTICAL)を光伝送ケーブル(別売り)で接続するとき



形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

### デジタル音声入力

本機に CD トランスポートやデジタルオーディオ出力を備えた機器を接続すると、本機を D/A コンバーターとして使用することができます(“D/A コンバーター機能で再生する (P.39 ページ)”)。

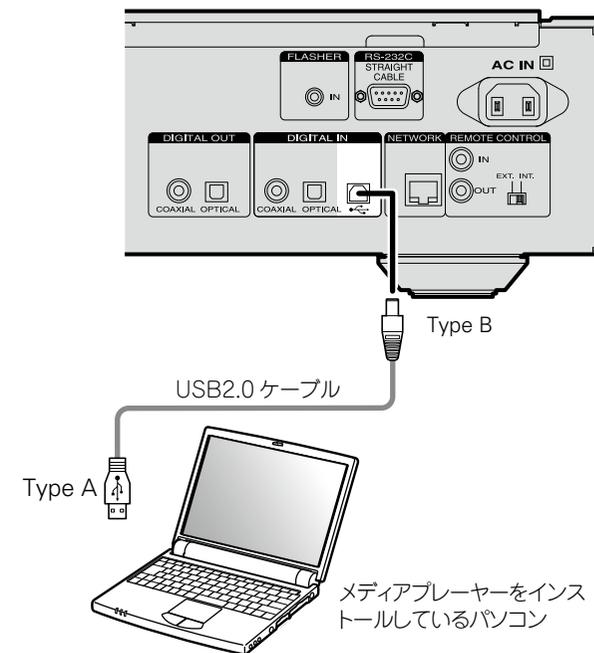


#### ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

## パソコンとの接続

本機のリアパネルの USB ポートとパソコンを USB ケーブル(別売り)で接続すると、本機を D/A コンバーターとして使用することができます(“D/A コンバーター機能で再生する (P.39 ページ)”)。



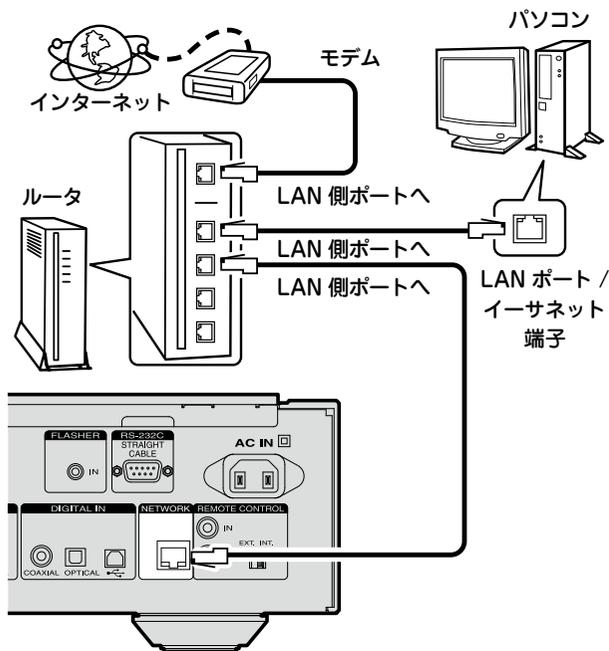
#### ご注意

- 本機とパソコンを接続する前に必ずドライバーのインストールをおこなってください。
- パソコンとの接続には 3m 以下のケーブルをお使いください。

## ホームネットワーク(LAN)に接続する

- 本機をホームネットワーク(LAN)に接続すると、パソコンに保存されている音楽ファイル、インターネットラジオの音声などをお楽しみいただけます。また、パソコンからウェブブラウザを使用して本機を操作することができます(☞37ページ「ウェブコントロール機能」)。
- ネットワーク機能を使用して、最新のファームウェアにアップデートできます。詳しくは、「Firmware(ファームウェア)」(☞15ページ)をご覧ください。
- ネットワーク設定が必要です。「ネットワークの設定[Network]」(☞18ページ)をご覧ください。

### 有線 LAN



インターネットの接続については、ISP(インターネット・サービスプロバイダ)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

### 必要なシステム

#### □ブロードバンド回線によるインターネット接続

#### □モデム

ブロードバンド回線と接続して、インターネットと通信をおこなうための機器です。ルータと一体型のものもあります。

#### □ルータ

本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルータをおすすめします。

- DHCP サーバー内蔵  
LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
- 100BASE-TX スイッチ内蔵  
複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。

#### □LAN ケーブル(CAT-5 以上を推奨)

- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルをお使いください。
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルをご使用になると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。



- ネットワークの設定を手動でおこなうタイプの回線で、プロバイダ契約を結んでいる場合は、「ネットワーク接続(“DHCP” の設定が“Off” のとき)」(☞18ページ)をおこなってください。
- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定をおこなうことができます。
- ブロードバンドルータ(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないません。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、「ネットワーク接続(“DHCP” の設定が“Off” のとき)」(☞18ページ)で、IP アドレスなどの設定をおこなってください。
- 手動で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

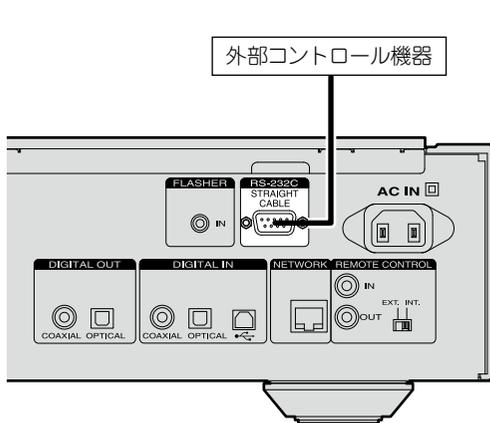
#### ご注意

- インターネットに接続するには、ISP と契約する必要があります。
- すでにブロードバンド回線を使用してインターネットに接続されている場合は、新たに契約する必要はありません。
- ISP 業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 当社では、お客様のネットワーク環境および接続機器に関する通信エラーや不具合については一切責任を負いかねます。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルータが必要です。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート / イーサネット端子と接続しないでください。
- オーディオストリームをおこなう場合は、オーディオストリーム対応のルータを使用してください。

## その他の接続

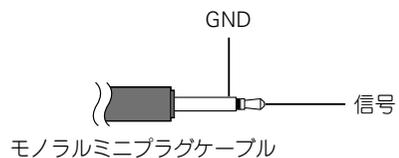
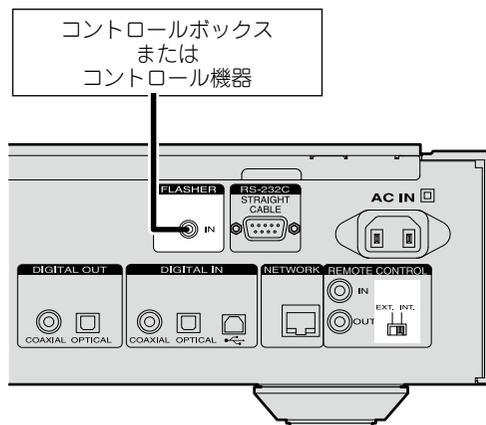
### RS-232C

外部コントロール機器と接続します。  
(接続の際はストレートケーブルを使用します。また、メンテナンス用にも使用します。)



### FLASHER IN

コントロールBOX 等を接続することにより、  
本機をコントロールできます。



FLASHER IN端子を使用する場合は、EXT./INT.スイッチを“INT.”に設定してください。

## リモートコントロール端子

本機とマランツ製のアンプの組み合わせで接続して使用すると、本機経由でMarantz Remote Appや、ウェブコントロール機能を使ってアンプをコントロールすることができます(「ウェブコントロール機能」(37ページ))。また、アンプで受信したリモコン信号を本機に伝達しコントロールできます。

### 接続

付属のリモートコントロール接続ケーブルで、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

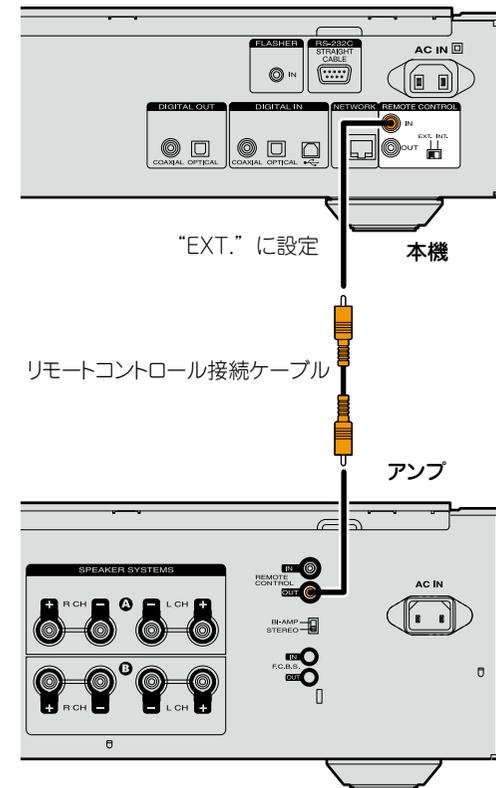
### 設定

本機の EXT./INT. スイッチを“EXT.”にします。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

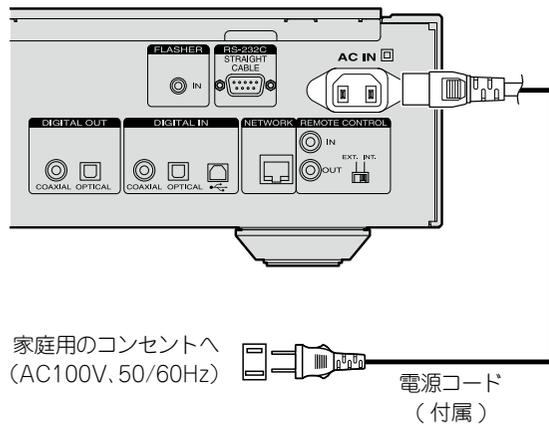


アンプを接続せずに本機のみを使用する場合は、スイッチを“INT.”に設定してください。



## 電源コードを接続する

すべての接続が終わってから電源プラグをコンセントへ差し込んでください。

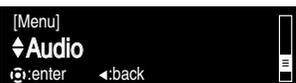


### ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

# 設定のしかた

## メニュー一覧

設定項目	詳細項目	説明	参照ページ	
<b>Quick Setup</b> 	<b>Quick Setup</b>	ネットワークの各種設定をウィザード形式で表示します。 操作のしかたについては、別冊の「簡単セットアップガイド」をご覧ください。	-	
<b>General</b> 	<b>Auto-Standby</b>	未使用時、本機の電源をスタンバイにします。	<a href="#">15</a>	
	<b>Firmware</b>	<b>Update</b>	ファームウェアをアップデートします。	<a href="#">15</a>
		<b>Notification</b>	アップデートの通知のオン / オフを設定します。	<a href="#">16</a>
	<b>Add New Feature</b>	ダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。	<a href="#">17</a>	
<b>Network</b> 	<b>Network Information</b>	ネットワークの各種情報を表示します。	-	
	<b>Network Control</b>	スタンバイ時のネットワーク機能のオン / オフを設定します。	<a href="#">20</a>	
	<b>Friendly Name</b>	ネットワーク上に表示される名前を編集します。	<a href="#">20</a>	
	<b>Settings</b>		有線 LAN 接続の設定をします。	<a href="#">18</a>
		<b>DHCP (On)</b> または <b>DHCP (Off)</b>	DHCP の設定をします。	<a href="#">18</a>
		<b>IP Address*</b>	IP アドレスの設定をします。	<a href="#">18</a>
		<b>Subnet Mask*</b>	サブネットマスクを入力します。	<a href="#">18</a>
		<b>Gateway*</b>	ゲートウェイの設定をします。	<a href="#">18</a>
		<b>Primary DNS*</b>	プライマリ DNS を入力します。	<a href="#">18</a>
		<b>Secondary DNS*</b>	セカンダリ DNS を入力します。	<a href="#">18</a>
	<b>Proxy</b>	プロキシの設定をします。	<a href="#">19</a>	
	<b>Test Connection</b>	ネットワークへの接続を確認します。	<a href="#">18</a>	
<b>Audio</b> 	<b>Noise Shaper</b>	ノイズ シェーパの設定をします。	<a href="#">21</a>	
	<b>DC Filter</b>	DC フィルターの設定をします。	<a href="#">21</a>	
	<b>Digital Out</b>	デジタル出力の設定をします。	<a href="#">21</a>	
	<b>Phase</b>	バランス出力信号の位相の設定をします。	<a href="#">22</a>	

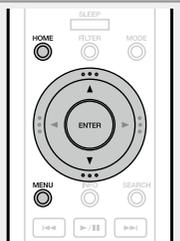
\* “DHCP” の設定 ([18 ページ](#)) が “Off” のときに表示します。

## メニュー操作

**1 TOP MENU** を押す。  
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します ([14 ページ](#)「メニュー一覧」)。

**2**  $\Delta$ / $\nabla$  と **ENTER** で設定したい項目を確定します。

メニュー設定の操作中にメニューの先頭に戻るときは、**HOME** を押します。



## 初期設定 [Quick Setup]

- “Quick Setup” の操作の詳細については、別冊の「簡単セットアップガイド」をご覧ください。
- “Quick Setup” メニューをキャンセルしたり、ネットワーク環境を変更した場合は、“Menu”⇒“Quick Setup” を実行してください。

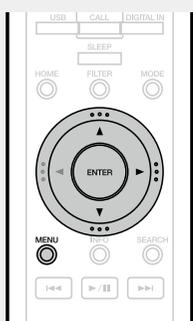
## 一般的な設定 [General]

### Auto-Standby(オートスタンバイ)

オートスタンバイを“On” に設定し、停止状態で約 30 分間操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイモードになります。

- お買い上げ時の設定は“On”です。

- 1 MENU を押す。**  
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します (14 ページ「メニュー一覧」)。



- 2 △▽ と ENTER で“General” ⇒ “Auto-Standby” を選び、ENTER または ▷ を押す。**  
“Select Auto-Standby” メニューを表示します。

- 3 △▽ を押して“On”または“Off”を選び、ENTER または ▷ を押す。**  
設定を確定します。

#### ご注意

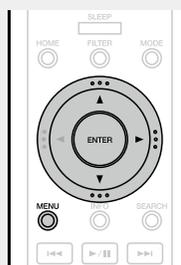
入力ソースが“iPod” (ダイレクトモード) または“AirPlay” のときはオートスタンバイ機能ははたらきません。

## Firmware(ファームウェア)

### Update(アップデート)

- ファームウェアをアップデートするためには、インターネットプロトコルに接続できる環境と設定が必要です (11 ページ)。
- ファームウェアアップデートの操作は、本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。

- 1 MENU を押す。**  
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します (14 ページ「メニュー一覧」)。



- 2 △▽ と ENTER で“General” ⇒ “Firmware” ⇒ “Update” を選び、ENTER または ▷ を押す。**

**Check For Update** ファームアップウェアが最新かどうかの確認ができます。また、アップデートする場合のおよそのアップデート時間を確認できます。

**Update Start** アップデートを実行します。

- アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。それでもアップデートできない場合は、次のいずれかのメッセージをディスプレイに表示します。このような場合は、設定やネットワーク環境の確認をおこなった上で、再度アップデートしてください。

ディスプレイ表示	説明
Updating fail	アップデートに失敗しました。
Login failed	サーバーへのログインに失敗しました。
Server is busy	サーバーが混雑しています。しばらく時間をおいてから、やり直してください。
Connection fail	サーバーへの接続に失敗しました。
Download fail	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。

### ウェブ画面でのアップデート

「ウェブコントロール機能」(37 ページ) でもファームウェアをアップデートできます。あらかじめ同じネットワーク内にあるパソコンに「ウェブコントロール機能」(37 ページ) の設定をおこなってください。アップデートファイルの入手方法は、当社の修理・サービス窓口にお問い合わせください。

- 1 「ウェブコントロール機能」(37 ページ) の手順5の④をクリックする。**  
パソコンに次の画面を表示します。この状態で約 1 分間待ちます。または、本機に表示する IP アドレスを Web ブラウザに入力してアクセスします。

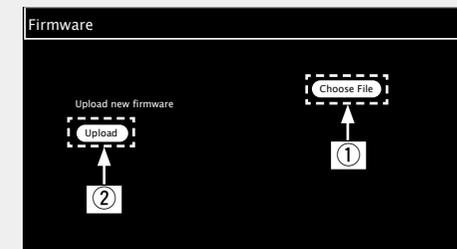
【Web の表示】



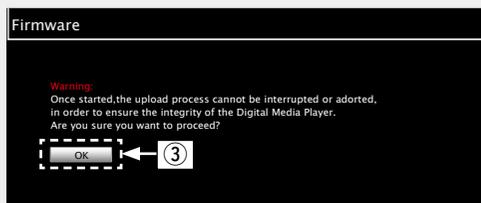
【本機の表示】

IpAddress  
192.168.xxx.xxx

- 2 次の画面を表示後、“Choose File” (①) ボタンをクリックし、アップデートファイルを選び、“Upload” ボタン (②) をクリックする。**



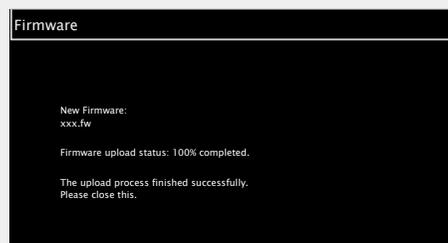
- 3** “OK”ボタン (③) をクリックする。  
アップデートをはじめます。



**ご注意**

アップデート中は、本体の操作をしないでください。

- 4** 次の画面が表示されたらアップデートは完了です。



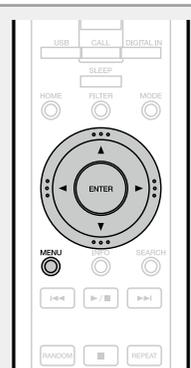
ボタン名はパソコン上で使用する OS の言語で異なる場合があります。

## Notification(通知)

### Update(アップデート)

“Update” で最新のファームウェアがリリースされている場合に、本機のメニュー画面に通知メッセージを表示します。この機能をご使用になるときは、インターネットブロードバンドに接続してください(11 ページ)。

- 1 MENU を押す。**  
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。



- 2** △▽と ENTER で“General”⇒“Firmware”⇒“Notification”⇒“Update”を選び、ENTER または ▷ を押す。  
“Update Notification”メニューを表示します。



- 3** △▽を押して“On”を選び、ENTER または ▷ を押す。

- On** アップデートの通知を表示します。  
**Off** アップデートの通知を表示しません。



- 通知メッセージが表示されている間に **ENTER** を押すと、“Check For Update”を表示します(“Update”の詳細は、15 ページをご覧ください)。
- 通知メッセージを閉じるときは、◀を押してください。

## Upgrade(アップグレード)

“Add New Feature”でダウンロード可能なファームウェアがリリースされている場合に、本機のメニュー画面に通知メッセージを表示します。この機能をご使用になるときは、インターネットブロードバンドに接続してください(11 ページ)。

- 1 MENU を押す。**  
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。

- 2** △▽と ENTER で“General”⇒“Firmware”⇒“Notification”⇒“Upgrade”を選び、ENTER または ▷ を押す。  
“Upgrade Notification”メニューを表示します。

- 3** △▽を押して“On”を選び、ENTER または ▷ を押す。

- On** アップグレードの通知を表示します。  
**Off** アップグレードの通知を表示しません。



- 通知メッセージが表示されている間に **ENTER** を押すと、“Add New Feature”を表示します。(“Add New Feature”の詳細は、17 ページをご覧ください)。
- 通知メッセージを閉じるときは、◀を押してください。

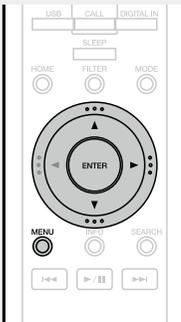
## □Add New Feature(新機能の追加)

- 新機能を追加するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です(11 ページ)。
- 新機能の追加の操作は本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。

### 1 MENU を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。

### 2 △▽と ENTER で“General” ⇨“Firmware”⇨“Add New Feature”を選び、ENTER また は ▷ を押す。



**Upgrade Status** アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。

**Upgrade Start** アップグレードを実行します。

- アップグレードができなかった場合は、ディスプレイに“Update”(15 ページ)と同様のメッセージを表示します。この場合は、ネットワーク環境を確認し、再度アップデートしてください。

**Upgrade ID** お手続きの際には、この画面に表示されている ID 番号が必要になります。



アップグレードをご使用になる場合の詳細は、当社ホームページをご覧ください。

お手続きが完了すると、ディスプレイに“Registered”を表示し、アップグレードします。お手続きされていない場合は、“Not Registered”を表示します。

## 【“Update”および“Add New Feature”をおこなったときのご注意】

- アップデート / アップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデート / アップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも 20 分程度の時間がかかります。
- 一旦アップデート / アップグレードを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。
- アップデート / アップグレードの実施後に、本機に設定したパラメータなどのバックアップデータが初期化される場合があります。
- アップデートやアップグレード中に更新が失敗した場合は、電源コードを再度挿入してください。ディスプレイに“Update Retry”を表示し、失敗したところから更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。



- “Update”および“Add New Feature”に関する情報は、その計画が明らかになるたびに当社ホームページなどで告知する予定です。
- “Update”および“Add New Feature”で使用可能な新しいファームウェアがリリースされると、メニュー画面に通知メッセージを表示します。表示させたくない場合は、“Update”(16 ページ)および“Upgrade”(16 ページ)を“Off”に設定してください。

## 🔧 ネットワークの設定 [Network]

- “Quick Setup” の詳しい操作方法については、別冊の「簡単セットアップガイド」をご覧ください。
- “Quick Setup” をキャンセルしたり、ネットワーク環境を変更したりした場合は、“Menu” ⇨ “Quick Setup” をおこなってください。

### 有線 LAN の接続

有線 LAN 接続の設定をします。

#### □ ネットワーク接続

##### （“DHCP” の設定が “On” のとき）

ブロードバンドルータ (DHCP 機能) をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。

**1** LAN ケーブルを接続する (🔗 [11 ページ](#) 「ホームネットワーク (LAN) に接続する」 ⇨ “有線 LAN”)。

**2** ⏻ (オン / スタンバイ) を押して、本機の電源を入れる。

**3** MENU を押す。  
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します (🔗 [14 ページ](#) 「メニュー一覧」)。



**4** △▽ と ENTER で “Network” ⇨ “Settings” ⇨ “DHCP (On)” を選び、ENTER または ▷ を押す。  
“Select DHCP” メニューを表示します。

**5** △▽ を押して “On” を選び、ENTER または ▷ を押す。  
“Setup Ethernet” メニューを表示します。

**6** △▽ を押して “Test Connection” を選び、ENTER または ▷ を押す。  
“Wait for the network to connect...” を表示し、ネットワークへの接続をはじめます。

- ネットワークに接続できた場合には、“Connected!” を表示します。
- ネットワークに接続できなかった場合には “Connection Failed” を表示しますので、手順 1～6 をやり直してください。

🔧  
ご使用のプロバイダによっては手動で設定する必要があります。手動で設定する必要がある方は「ネットワーク接続 (“DHCP” の設定が “Off” のとき)」の手順で設定をおこなってください。

#### □ ネットワーク接続

##### （“DHCP” の設定が “Off” のとき）

DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合の設定のしかたについて説明します。

🔧  
手動で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

**1** 「ネットワーク接続 (“DHCP” の設定が “On” のとき)」の手順 1～4 をおこない、手順 5 で “Off” を選ぶ。  
“Setup Ethernet” メニューを表示します。

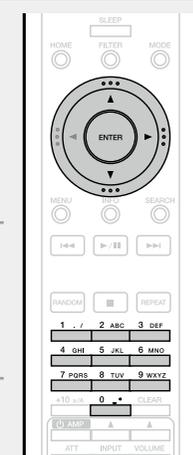
**2** △▽ を押して “IP Address” を選び、ENTER または ▷ を押す。  
“Enter IP Address” メニューを表示します。

**3** △▽▷ または 0～9 で IP アドレスを入力し、ENTER を押す。

**4** △▽▷ または 0～9 で “Subnet Mask”、“Gateway”、“Primary DNS” または “Secondary DNS” にアドレスを入力する。

**5** △▽ を押して “Test Connection” を選び、ENTER または ▷ を押す。  
“Wait for the network to connect...” を表示し、ネットワークへの接続をはじめます。

- ネットワークに接続できた場合には、“Connected!” を表示します。
- ネットワークに接続できなかった場合には “Connection Failed” を表示しますので、手順 1～5 をやり直してください。



## □プロキシの設定

プロキシサーバーを経由してインターネットに接続する場合に設定します。

### 1 MENU を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します (14 ページ「メニュー一覧」)。

### 2 △▽ と ENTER で“Network” ⇨ “Settings” ⇨ “Proxy” を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Setup Proxy” メニューを表示します。

### 3 “Proxy (On)” と表示された場合は手順 5 へ、“Proxy (Off)” と表示された場合は ENTER または ▷ を押す。

“Select Proxy” メニューを表示します。

### 4 △▽ を押して“On”を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Setup Proxy” メニューを表示します。

### 5 △▽ を押して“Proxy (Address)”または“Proxy (Name)”を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Select Type” メニューを表示します。



### 6 △▽ を押して“Address”または“Name”を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Setup Proxy” メニューを表示します。

### 7 △▽ を押して“Address”または“Name”を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Enter Proxy Address”または“Input Proxy Name”メニューを表示します。

### 8 △▽▷ または 0~9、+10 でアドレスまたはドメイン名を入力し、ENTER を押す。

“Setup Proxy” メニューを表示します。

### 9 △▽ を押して“Port”を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Enter Proxy Port”メニューを表示します。

### 10 △▽▷ または 0~9 でプロキシサーバーのポート番号を入力し、ENTER を押す。

プロキシの設定を終了します。

## Other Network (その他のネットワーク設定)

### □Network Control

#### (ネットワークコントロールの設定)

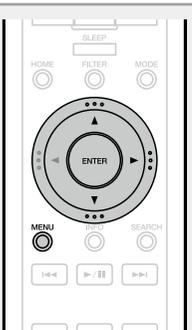
スタンバイ時のネットワーク機能のオン/オフを設定します。オンに設定しておくこと、Marantz Remote App やウェブコントロール機能などネットワーク対応のコントローラを使って電源を入れることができます。

#### 1 MENU を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。

#### 2 △▽ と ENTER で“Network” ⇨“Network Control”を選び、 ENTER または ▷ を押す。

“Network Standby”メニューを表示します。



#### 3 △▽ を押して“On”または“Off”を選び、ENTER または ▷ を押す。

##### On

- スタンバイ時に電源表示がオレンジ色に点灯します。
- Marantz Remote App やウェブコントロール機能などネットワーク対応のコントローラを使って電源を入れることができます。
- AirPlay 機能を使って、本機で再生させる操作をおこなったとき、電源が入り AirPlay をはじめます。
- 電源を入れてからネットワークに接続するまでの時間が短くなります。
- スタンバイ時の待機電力が“Off”時よりも多く消費します(消費電力：3W)。

##### Off

- スタンバイ時に電源表示が赤色に点灯します。
- 電源を入れてからネットワークに接続するまでの時間がやや多くかかります。
- スタンバイ時の待機電力をおさえることができます(消費電力：0.4W)。
- お買い上げ時の設定です。

#### 4 MENU を押す。

ディスプレイが通常表示に戻ります。

### □Friendly Name(フレンドリーネーム)

フレンドリーネームは、ネットワーク上に表示される本機の名前です。

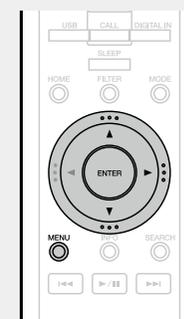
お買い上げ時は、“Marantz NA-11S1”です。この名前は編集して変更できます。

#### 1 MENU を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。

#### 2 △▽ と ENTER で“Network” ⇨“Friendly Name”を選び、 ENTER または ▷ を押す。

“Friendly Name”メニューを表示します。



#### 3 △▽ を押してフレンドリーネーム (Marantz NA-11S1) を選び、ENTER を押す。

#### 4 フレンドリーネームの編集をします。

- 文字の入力方法は、40 ページをご覧ください。
- 最大 63 文字まで編集できます。

### □フレンドリーネームをお買い上げ時の設定にリセットする

手順 3 で“Default”を選び、ENTER を押す。

## オーディオの設定 [Audio]

本機には好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調整機能を搭載しています。

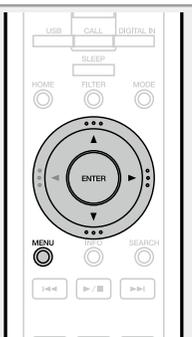
- 設定は電源を切っても保持されます。

### Noise Shaper(ノイズシェーパー)

デジタル帰還によって、低い音のリニアリティと可聴帯域のノイズ特性を改善します。

測定上の差は現れませんが、音質は変化しますのでお好みに合わせて設定してください。

- 1 MENU を押す。**  
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14ページ「メニュー一覧」)。



- 2 Δ▽ と ENTER で“Audio” ⇨ “Noise Shaper” を選び、ENTER または ▷ を押す。**  
“Noise Shaper” メニューを表示します。

- 3 Δ▽ を押して“On”または“Off”を選び、ENTER または ▷ を押す。**  
設定を確定します。

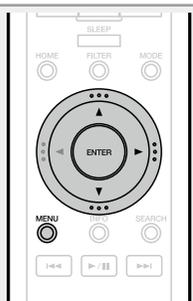
#### ご注意

サンプリング周波数が 32kHz のソースと DSD 信号の再生中は、Noise Shaper(ノイズシェーパー)機能は働きません。

### DC Filter(DC フィルター)

非常に低いノイズ性の音声を再生中、スピーカーが異常振動するような場合に有効です。(カット周波数は 1.7Hz に設定されています。)

- 1 MENU を押す。**  
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14ページ「メニュー一覧」)。



- 2 Δ▽ と ENTER で“Audio” ⇨ “DC Filter” を選び、ENTER または ▷ を押す。**  
“DC Filter” メニューを表示します。

- 3 Δ▽ を押して“On”または“Off”を選び、ENTER または ▷ を押す。**  
設定を確定します。

#### ご注意

- サンプリング周波数が 32kHz のソースと DSD 信号の再生中は、DC Filter(DC フィルター)機能は働きません。
- Noise Shaper(ノイズシェーパー)、DC Filter(DC フィルター)、フィルター特性は、ラストメモリー機能を持っています。電源をオフしても設定を記憶します。

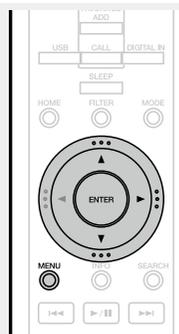
### Digital Out(デジタル出力を設定する)

- 1 MENU を押す。**  
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14ページ「メニュー一覧」)。

- 2 Δ▽ と ENTER で“Audio” ⇨ “Digital Out” を選び、ENTER または ▷ を押す。**  
“Digital Out” メニューを表示します。

- 3 Δ▽ を押して“On”または“Off”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

- デジタル出力をオフにすると、フロントパネルの“DIGI.OUT OFF”表示が点灯します。



## Phase (アナログ出力の位相の切り替え)

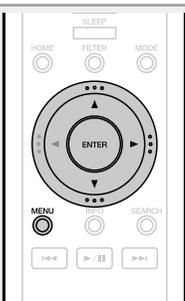
バランス出力時の出力信号の位相を切り替えます。本機のバランス出力はU.S.A.仕様です。本機を位相仕様が異なるヨーロッパ仕様のアンプにバランス出力するときは、“Inverted” に設定してください。

### 1 MENU を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します  
([14 ページ](#)「メニュー一覧」)。

### 2 △▽ と ENTER で“Audio” ⇨ “Phase”を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Phase”メニューを表示します。



### 3 △▽を押して“Normal”または“Inverted”を選び、ENTERまたは▷を押す。

**Normal** : U.S.A.仕様の位相で出力します。

**Inverted** : ヨーロッパ仕様の位相で出力します。

## 操作編

ここでは、本機をより使いこなすことができる機能や操作について説明しています。

- 準備 [👉 24 ページ](#)
- 再生中にできる操作 [👉 24 ページ](#)
- ネットワークオーディオを再生する [👉 26 ページ](#)
- お気に入り機能 [👉 29 ページ](#)
- iPod を再生する [👉 30 ページ](#)
- USB メモリーを再生する [👉 32 ページ](#)
- AirPlay 機能 [👉 34 ページ](#)
- Remote play 機能 [👉 36 ページ](#)
- ウェブコントロール機能 [👉 37 ページ](#)
- D/A コンバーター機能で再生する [👉 39 ページ](#)
- その他の機能 [👉 40 ページ](#)

# 操作のしかた

ここでは、再生のしかたについて説明します。

## 準備

### 電源を入れる

⏻ (オン / スタンバイ) を押す。  
電源スタンバイ表示の赤色が消灯し、電源が入ります。

- 本体の ⏻ ON/STANDBY を押しても電源を入れることができます。



- お買い上げ後、初めて電源を入れたときに“Quick Setup”メニューが起動します。“Quick Setup”の操作のしかたについては、別冊の「簡単セットアップガイド」をご覧ください。
- “Quick Setup”メニューをキャンセルした場合、またはネットワーク環境を変更した場合は、“Menu”⇒“Quick Setup”をおこなってください。

### 電源をスタンバイにする

⏻ (オン / スタンバイ) を押す。  
スタンバイ状態になります。

- 電源表示について  
電源スタンバイ時：赤色  
“Network Control”設定⇒“On”時：オレンジ色  
iPodの充電スタンバイ時：オレンジ色



#### ご注意

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 電源を完全に切るには

電源プラグを壁のコンセントから抜いてください。

## 再生中にできる操作

### 入力ソースを切り替える

#### □ 本体の操作で入力ソースを選ぶ

- 1 INPUT を押す。  
ディスプレイが入力ソース選択画面になります。
- 2 △▽ を押して入力ソースを切り替える。  
ボタンを押すたびに、入力ソースが切り替わります。

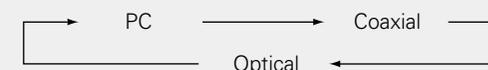
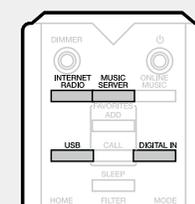


iPhone、iPod touch の音楽ファイルや iTunes の音楽を本機で再生できます ( [P.34 ページ](#) 「AirPlay 機能」 )。

#### □ リモコンの操作で入力ソースを選ぶ

入力ソース選択ボタン (INTERNET RADIO、MUSIC SERVER、USB または DIGITAL IN) を押す。

- 入力ソースをダイレクトに選べます。
- DIGITAL IN を押すたびに、次のように入力ソースが切り替わります。



## スリープタイマーを設定する

設定した時間後に、自動的に電源をスタンバイ状態にします。

再生中に **SLEEP** を押して、設定時間を選ぶ。

- 設定時間は 10 分間隔で最大 90 分まで選べます。
- 約 3 秒後、設定を確認しもとの表示に戻ります。



### □スリープタイマーを解除するには

**SLEEP** を押して“Sleep ▶ OFF”を選ぶか、**⏻** (オン / スタンバイ) を押す。

### □スリープタイマーが動作するまでの時間を確認するには

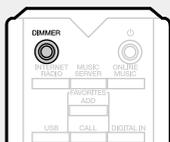
**SLEEP** を押す。

## イルミネーションランプの設定を切り替える

正面パネル両側のイルミネーションランプのオン / オフを切り替えます。

- お買い上げ時の設定は“オン”です。

**DIMMER** を 2 秒以上長押しする。



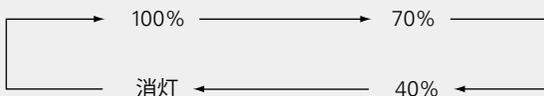
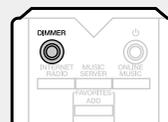
- 押すたびにオン / オフ設定が切り替わります。

オン ↔ オフ

## ディスプレイの明るさを切り替える

**DIMMER** を押す。

- **DIMMER** を押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。



- “消灯” 設定時、フロントパネルの“DISPLAY OFF”表示が点灯します。



“消灯” 設定時にボタン操作をおこなうと、一時的に 100% の明るさで点灯します。

## ヘッドホンを使って聴く

ヘッドホン端子にヘッドホン(別売り)のプラグを差し込む。

### 音量を調整する

**LEVEL** を回す。

#### ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

## フィルター特性の切り替え

DSD ソースの再生用と PCM ソース再生用にそれぞれ 2 種類のフィルター特性を選ぶことができます。各フィルターの特性は次のとおりです。

Filter タイプ	PCM ソース	DSD ソース
Filter 1	インパルス応答は、プリエコー、ポストエコー共に短い特性です。音の情報量が多く、奥深い音像や音源の位置関係が明確に再現されます。	解像度の高い音で、音の情報量が明確に再現されます。
Filter 2	非対称インパルス応答と呼ばれる特性を持ったフィルターです。プリエコーに対してポストエコーが少し長めです。アナログ的な音質傾向です。	DSD データを 100kHz を超えた部分を減衰させます。バランスの良い滑らかなサウンドが特長です。

**FILTER** を押す

- **FILTER** を押すたびに、を押すたびに、次のようにフィルター特性が切り替わります。



#### ご注意

Noise Shaper(ノイズシェーパ)、DC Filter(DCフィルター)、フィルター特性は、ラストメモリー機能を持っています。電源をオフしても設定を記憶します。

# ネットワークオーディオを再生する

インターネットラジオやパソコンに保存されている音楽ファイルを再生できます。

- [インターネットラジオ機能について \(P.46 ページ\)](#)
- [ミュージックサーバー機能について \(P.46 ページ\)](#)

## インターネットラジオを聴く

### 1 再生の準備をする。

- ① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる ([P.24 ページ](#)「電源を入れる」)。
- ② 設定が必要な場合は、「ネットワークの設定 [Network]」 ([P.18 ページ](#)) をおこなう。



### 2 INTERNET RADIO を押し、入力ソースを“Internet Radio”に切り替える。

- 本体のボタンで入力ソースを選ぶ方法は、「本体の操作で入力ソースを選ぶ」 ([P.24 ページ](#)) をご覧ください。

### 3 △▽ を押して再生したい項目を選び、ENTER または ▷ を押す。

### 4 放送局リストが表示されるまで、手順 3 をくり返す。 放送局リストを表示します。

- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.” (ピリオド) または“ ” (空白) に置き換えて表示します。

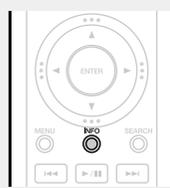
### 5 △▽ を押して放送局を選び、ENTER または ▷ を押す。 バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。



- インターネット上には数多くのインターネットラジオ局があり、各ラジオ局から配信される放送や楽曲のビットレートには高低さまざまなものがあります。一般的に、ビットレートが高いほど高音質になりますが、通信回線やサーバーの混雑具合によってはストリーミングしている音楽や音声が途切れやすくなります。逆にビットレートが低ければ音質は低下しますが、途切れにくくなります。
- 放送局が混雑している場合や放送されていないときには、“Server Full”または“Connection Down”を表示します。

## □本機のディスプレイ表示を切り替える

インターネットラジオ受信中に **INFO** を押す。  
放送局の情報や信号フォーマット、ビットレートを表示します。



## □最近再生したインターネットラジオ局を選ぶとき

“Recently Played” から、最近再生したインターネットラジオ局を選べます。  
最大 20 局まで“Recently Played”へ自動的に記憶します。

1 インターネットラジオのトップメニューで △▽ を押して “Recently Played” を選び、**ENTER** または ▷ を押す。



2 △▽ を押して再生したい放送局を選び、**ENTER** または ▷ を押す。

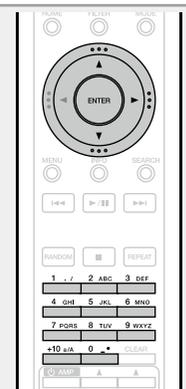
## □キーワードでインターネットラジオ局を検索する

1 インターネットラジオのトップメニューで △▽ を押して “Search by Keyword” を選び、**ENTER** または ▷ を押す。

2 △▽ ▷ または 0~9、+10 で文字を入力し、**ENTER** を押す。

- 検索で見つかったインターネットラジオ局のリストを表示します。
- 文字の入力方法については、[40 ページ](#) をご覧ください。

3 △▽ を押して再生したい放送局を選び、**ENTER** または ▷ を押す。



## □インターネットラジオ局をお気に入りリストに登録する

お気に入りの放送局をお気に入りリストに登録できます ([P.29 ページ](#))。

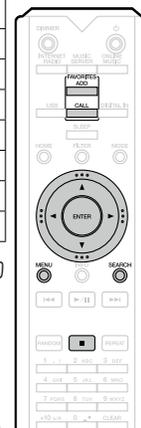
## □インターネットラジオ受信時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
<b>FAVORITES ADD</b>	お気に入りリストへの登録
<b>FAVORITES CALL</b>	お気に入りリストからの呼び出し
△▽◀▷	カーソル操作 (上 / 下 / 左 / 右)
<b>ENTER</b>	確定
<b>MENU</b>	メニュー
<b>SEARCH</b>	キャラクターサーチ *
■	停止

\* **SEARCH** を押して検索したい頭文字を入力し、**ENTER** を押すと検索できます。



リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。



## メディアの共有設定をおこなう

パソコンやNASに保存されている音楽ファイルをネットワーク上で共有するための設定をおこなうと、共有した音楽ファイルを本機で再生できます。

### □パソコンに保存したメディアを共有する

メディアサーバーを使用する場合には、事前に必ずこの設定をおこなってください。

### Windows Media Player 12 (Windows 7、Windows 8) を使用する場合

#### ご注意

次の手順は、コントロールパネルの表示方法を“カテゴリ”にしてからおこなってください。

- 1 パソコン上の“コントロールパネル”から“ネットワークとインターネット”⇒“ホームグループと共有に関するオプションの選択”を選ぶ。
- 2 “ピクチャ、ミュージック、およびビデオを同じホームネットワーク上にあるすべてのデバイスにストリーム配信する”をチェックし、“メディアストリーミングオプションの選択”を選ぶ。
- 3 “Marantz NA-11S1”のドロップダウンリストで“許可”を選ぶ。
- 4 “このPCとリモート接続のメディアプログラム”のドロップダウンリストで“許可”を選ぶ。
- 5 “OK”をクリックして終了する。

### Windows Media Player 11 を使用する場合

- 1 パソコンでWindows Media Player 11を起動する。
- 2 “ライブラリ”から“メディアの共有”を選ぶ。
- 3 “メディアを共有する”をチェックして“Marantz NA-11S1”を選び、“許可”をクリックする。
- 4 手順3と同様に、メディアコントローラとして使用したい機器（他のパソコンやモバイル端末）のアイコンを選び、“許可”をクリックする。
- 5 “OK”をクリックして終了する。

### NASに保存したメディアを共有する

本機およびメディアコントローラとして使用したい機器（他のパソコンやモバイル端末）がNASにアクセスできるよう、NASの設定を変更してください。詳しくは、ご使用のNASに付属の取扱説明書をご覧ください。

## パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する

音楽ファイルおよびプレイリストを再生できます。

### 1 再生の準備をする。

- ① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる ([24ページ](#)「電源を入れる」)。
- ② 設定が必要な場合は、「ネットワークの設定[Network]」([18ページ](#))をおこなう。
- ③ パソコンの準備をする ([27ページ](#)「メディアの共有設定をおこなう」、[46ページ](#)「ミュージックサーバー機能について」)。



### 2 MUSIC SERVER を押して、入力ソースを“Music Server”に切り替える。

- 本体のボタンで入力ソースを選ぶ方法は、「本体の操作で入力ソースを選ぶ」([24ページ](#))をご覧ください。

### 3 △▽ を押して再生したいファイルのあるサーバーを選び、ENTER または ▷ を押す。

### 4 △▽ を押して検索項目またはフォルダを選び、ENTER または ▷ を押す。

### 5 ファイルが表示されるまで、手順 4 を繰り返す。

### 6 △▽ を押してファイルを選び、ENTER または ▷ を押す。 バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。



- 音楽ファイルの再生には、必要なシステムとの接続および設定が必要です ([11ページ](#))。
- あらかじめパソコンのサーバーソフトを起動し、ファイルをサーバーコンテンツとして設定してください。詳しくは、サーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。
- Windows Media Player (バージョン 11 以上) などのトランスコードに対応したサーバーをご使用になると、WMA Lossless ファイルを再生できます。

#### ご注意

パソコンや NAS を無線 LAN で接続して音楽ファイルを再生する場合、お使いの無線 LAN の環境によって、音が途切れることがあります。この場合は、パソコンや NAS を有線 LAN で接続し再生してください。

### □くり返し再生する(リピート再生)

([32ページ](#))

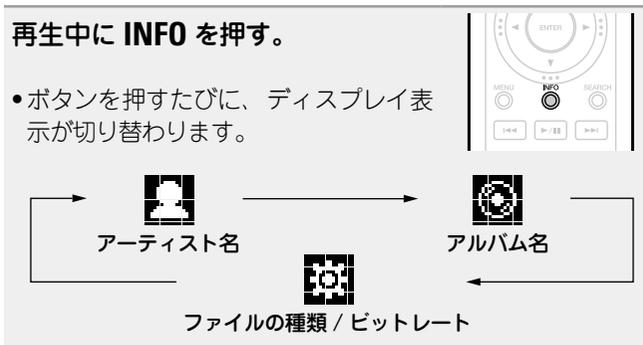
### □順不同に再生する(ランダム再生)

([32ページ](#))

### □ディスプレイ表示を切り替える

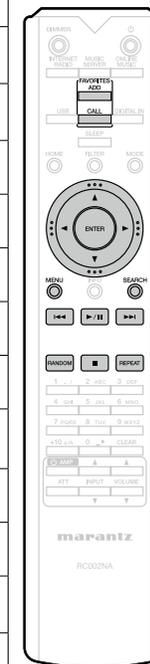
再生中に INFO を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイ表示が切り替わります。



### □ミュージックサーバーの再生に使用できるボタン

操作ボタン	機能
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの登録
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
△▽◀▶	カーソル操作
ENTER	確定
MENU	メニュー
SEARCH	キャラクターサーチ *1
⏮ ⏭	スキップサーチ(頭出し)
⏮ ⏭ (長押し)	マニュアルサーチ(早戻し/早送り)*2
▶/	再生 / 一時停止
■	停止
RANDOM	ランダム再生 ( <a href="#">32ページ</a> )*3
REPEAT	リピート再生 ( <a href="#">32ページ</a> )



\*1 SEARCH を押したあとに検索したいファイルの頭文字を選び、そのあとに ENTER を押します。

\*2 この機能は MP3/WAV/AAC/FLAC ファイルの再生時に使用できます。

\*3 パソコンに保存しているファイルをランダム再生すると、曲の再生が終わるたびにフォルダ内の曲からランダムに再生する曲を選びます。



- リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。
- 使用するサーバーによっては、一部の機能が制限される場合があります。

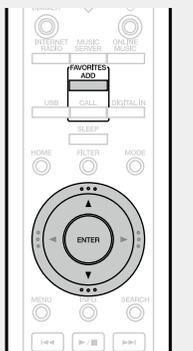
## お気に入り機能

ここではお気に入り機能について説明します。

- お気に入り機能とは、好きな放送局やファイルをあらかじめお気に入りリストに登録することにより、いつでもすぐに好きな放送局やファイル呼び出して聴くことができる機能です。
- 登録や呼び出しが可能なコンテンツは、インターネットラジオとミュージックサーバーです。
- お気に入りリストには最大 50 個の放送局やファイルを登録できます。

### 放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する

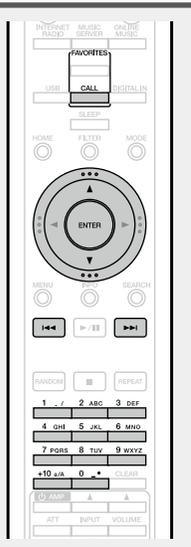
- 1 登録したい放送局やファイルの再生中に **FAVORITES ADD** を押す。  
“Favorites” メニューを表示します。



- 2  $\Delta$ / $\nabla$  を押して再生中の放送局またはファイルに登録する番号を選び、**ENTER** を押す。  
“Added To Favorites” を表示し、登録を完了します。

### お気に入りリストに登録した放送局またはファイル呼び出す

- 1 **FAVORITES CALL** を押す。  
お気に入りリストを表示します。
  - 2  $\leftarrow$ / $\rightarrow$  または  $\Delta$ / $\nabla$  を押して呼び出したい放送局またはファイルを選び、**ENTER** を押す。  
各ソースに移行して、再生をはじめます。
- 0~9、+10 を押すと、お気に入りに登録した放送局やファイルを番号で呼び出せます。

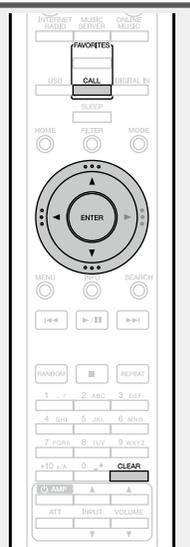


- お気に入りリストに登録した放送局やファイルを再生中、登録した放送局またはファイルを切り替える

$\leftarrow$ / $\rightarrow$  または  $\Delta$ / $\nabla$  を押す。

### お気に入りリストから放送局またはファイル削除する

- 1 **FAVORITES CALL** を押す。  
お気に入りリストを表示します。
- 2  $\Delta$ / $\nabla$  を押して削除したい放送局またはファイルを選び、**CLEAR** を押す。
- 3 “Delete?” が表示されたら **ENTER** を押す。  
“Deleted” と表示され、削除を完了します。



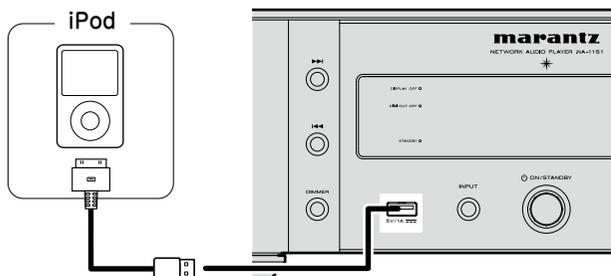
- 操作を中止する

$\leftarrow$  を押す。

## iPod の再生

本機は iPod、iPod touch、iPod classic、iPod nano および iPhone に保存されている音楽を再生できます。

□ iPod について (P.45 ページ)



iPod に付属の iPod 専用ケーブルをお使いください。

### ご注意

- 本機に iPhone を接続するときは、iPhone を本機から 20cm 以上離してください。iPhone を本機に近づけると、iPhone が電話を受信したときに、本機の音声出力にノイズが入ることがあります。
- iPod の接続に 2m 以上の iPod ケーブル(別売り)を使用すると、音声は正しく再生できない場合があります。その場合は、純正の iPod ケーブルもしくは 1m 以下のケーブルをお使いください。

## iPod を再生する

**1** 電源 (オン / スタンバイ) を押し、本機の電源を入れる。

**2** USB を押して、入力ソースを“USB”に切り替える。

- 本体のボタンで入力ソースを選ぶ方法は、「本体の操作で入力ソースを選ぶ」(P.24 ページ)をご覧ください。

**3** MODE を押して表示モードを選ぶ。

MODE を押すたびに、表示モードを切り替えます。

- iPod のデータを表示するモードは 2 つあります。

### リモートモード

iPod の情報を本機のディスプレイに表示させて操作するモードです。

### ダイレクトモード

iPod に表示される画面を見ながら、直接 iPod 本体を操作するモードです。

- 本機のディスプレイに“Direct iPod”を表示します。

表示モード		リモートモード	ダイレクトモード
表示する場所		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音楽ファイル	✓	✓
	ビデオファイル		✓*
操作できるボタン	本機とリモコン	✓	✓
	iPod		✓

\* 音声のみ再生します。

- お買い上げ時の設定は、ダイレクトモードです。



**4** △▽ を押して項目を選び、ENTER を押して再生したいファイルを選ぶ。

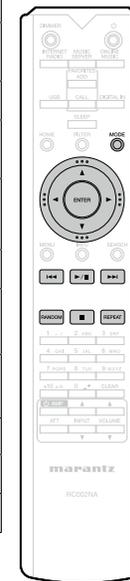
**5** ▶/|| を押す。再生をはじめます。

### ご注意

- ダイレクトモードは、第 1 世代の iPod nano および iPod video には対応していません。
- 万一 iPod のデータを消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

## □ iPod 再生時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
MODE	リモートモードとダイレクトモードの切り替え
△▽	カーソル操作(上/下)
◀	メニューの呼び出し / メニューのリターン
ENTER または ▶	設定の確定 / 再生
⏮, ⏭	スキップサーチ(頭出し)
⏮, ⏭ (長押し)	マニュアルサーチ(早戻し / 早送り)
▶/	再生 / 一時停止
■	停止
REPEAT	リピート再生
RANDOM	シャッフル再生



## □本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に **INFO** を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイ表示が切り替わります(リモートモードのみ)。



アーティスト名 ↔ アルバム名

## □くり返し再生する(リピート再生)

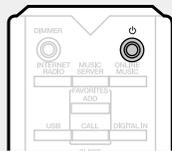
([指 32 ページ](#))

## □順不同に再生する(ランダム再生)

([指 32 ページ](#))

## iPod を取り外す

- 1 電源(オン/スタンバイ)を押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。



- 2 USB 端子から iPod を取り出す。

## iPod の充電

USB 端子に接続すると、iPod や iPhone の充電ができます。

### □スタンバイ充電

iPod や iPhone を充電中に本機がスタンバイモードに入った場合、スタンバイ充電モードに切り替えて、iPod/iPhone を充電します。スタンバイ充電モードでは、電源表示がオレンジ色に変わります。

iPod や iPhone が完全に充電されると、電源表示が赤色に変わり、通常のスタンバイモードに移行します。

- Network Control 設定がオンのときは、充電完了後も電源表示はオレンジ色です。

## 対応している iPod/iPhone

### • iPod classic



iPod classic  
80GB



iPod classic  
160GB (2007)



iPod classic  
160GB (2009)

### • iPod nano



iPod nano  
3rd generation  
(video)  
4GB 8GB



iPod nano  
4th generation (video)  
8GB 16GB



iPod nano  
5th generation (video camera)  
8GB 16GB



iPod nano  
6th generation  
8GB 16GB



iPod nano  
7th generation  
16GB

### • iPod touch



iPod touch  
1st generation  
8GB 16GB 32GB



iPod touch  
2nd generation  
8GB 16GB 32GB



iPod touch  
3rd generation  
32GB 64GB



iPod touch  
4th generation  
8GB 32GB 64GB



iPod touch  
5th generation  
32GB 64GB

### • iPhone



iPhone  
4GB 8GB 16GB



iPhone 3G  
8GB 16GB



iPhone 3GS  
8GB 16GB 32GB



iPhone 4  
8GB 16GB 32GB



iPhone 4S  
16GB 32GB 64GB



iPhone 5  
16GB 32GB 64GB

## USB メモリーを再生する

本機で USB メモリーに保存されている音楽ファイルを楽しむことができます。

□ USB メモリーについて (P.45 ページ)

### USB メモリーを再生する

#### 1 USB 端子に USB メモリーを接続する。



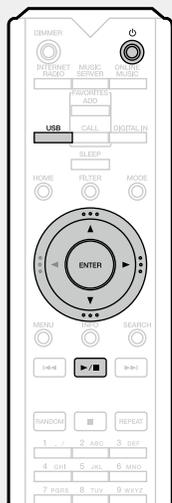
#### 2 電源ボタン (オン/スタンバイ) を押して、本機の電源を入れる。

#### 3 USB ボタンを押して、入力ソースを“USB”に切り替える。

- 本体のボタンで入力ソースを選ぶ方法は、「本体の操作で入力ソースを選ぶ」(P.24 ページ) をご覧ください。

#### 4 上下方向キーを押して再生したいファイルまたはフォルダを選び、ENTER または 右方向キーを押す。

#### 5 上下方向キーを押してファイルを選び、ENTER、右方向キー または 再生/一時停止ボタンを押す。再生をはじめます。



- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ選べます。
- 本機で対応している MP3 ファイルの規格は、「MPEG-1 Audio Layer-3」です。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものでお使いになる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

#### ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。
- USB メモリーを接続すると本機は USB メモリーに記録されているファイルを読み込みます。読み込み時間は USB メモリーに記録されている容量の大きさによります。再生可能な最大ファイル数および最大フォルダ数が記録された場合は、ファイルの読み取りに数分間かかります。
- 本機に USB メモリーを接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

### USB メモリーを取り外す

#### 1 電源ボタン (オン/スタンバイ) を押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。

#### 2 USB メモリーの通信表示が点滅していないことを確認してから、USB メモリーを抜く。



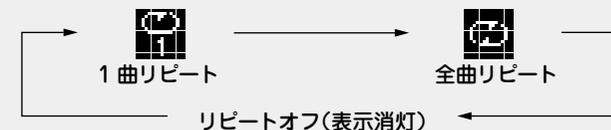
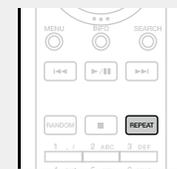
#### ご注意

USB メモリーの通信表示が点滅しているときは、USB メモリーを本機から抜かないでください。USB メモリーおよび USB メモリーの記録ファイルが破損することがあります。

### くり返し再生する(リピート再生)

**REPEAT** を押す。  
リピート再生をはじめます。

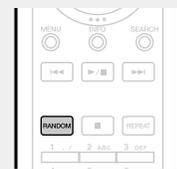
- ボタンを押すたびに、リピートモードが切り替わります。



(1曲リピート)	1曲のみをくり返して再生します。
(全曲リピート)	再生中のフォルダ内の曲をくり返して再生します。
リピートオフ(表示消灯)	通常の再生に戻ります。

### 順不同に再生する(ランダム再生)

**RANDOM** を押す。  
ディスプレイの 表示が点灯し、現在再生中のフォルダ内にあるすべての曲をランダムに再生します。

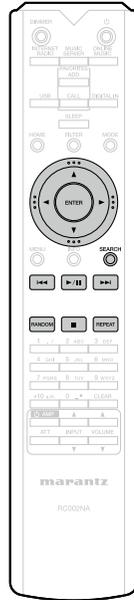


#### □ ランダム再生を解除する

**RANDOM** を押す。  
ディスプレイの 表示が消灯します。

## □USB メモリー再生時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
△▽	カーソル操作(上/下)
ENTER または▷	設定の確定 / 再生
◁	メニューの呼び出し / メニューのリターン
SEARCH	キャラクターサーチ *1
⏮️ ⏭️	スキップサーチ(頭出し)
⏮️ ⏭️ (長押し)	マニュアルサーチ(早戻し / 早送り)*2
▶️/⏸️	再生 / 一時停止
■	停止
RANDOM	ランダム再生 *3
REPEAT	リピート再生



## □本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイ表示が切り替わります。



- \*1 **SEARCH** を押したあとに検索したいファイルの頭文字を選び、そのあとに **ENTER** を押す。
- \*2 この機能は MP3/WAV/AAC/FLAC ファイルの再生時に使用できます。
- \*3 USB メモリーに保存しているファイルをランダム再生すると、曲の再生が終わるたびにフォルダー内の曲からランダムに再生する曲を選びます。



リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。

## AirPlay 機能

iTunes のミュージックライブラリを本機で再生することができます。

また、iPhone、iPod touch、iPad の Apple Remote アプリ\*を使って、どの部屋からでも iTunes のミュージックライブラリをコントロールできます。

\* App Store から無料でダウンロードできます。

### iPhone、iPod touch の音楽ファイルを本機で再生する

iPhone、iPod touch を iOS 4.2.1 以上にアップデートすると、iPhone、iPod touch の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

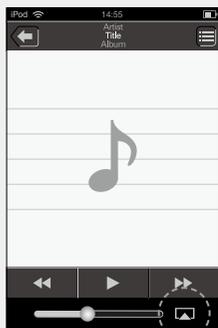
**1 iPhone または iPod touch を音楽モードにする。**  
iPhone または iPod touch の画面に  を表示します。

• iPhone、iPod touch と同じネットワークに AirPlay 対応のスピーカー（機器）が接続されていない場合、 は表示されません。iPhone、iPod touch を本機と同じネットワークに接続して下さい。

**2 AirPlay アイコン  をタップして本機を選ぶ。**  
あらかじめ、本機の“Network Control”設定 ([p.20 ページ](#)) を“On”にしてください。

#### ご注意

“Network Control”を“On”に設定すると、スタンバイ時の待機電力は“Off”に設定しているときより多く消費します。



**3 曲を選んで再生する。**  
本機で再生をはじめます。

### iTunes の音楽を本機で再生する

**1 本機と同じネットワークに接続しているパソコンに、iTunes10 以降をインストールする。**

**2 iTunes を起動し、画面右下の AirPlay アイコン  をクリックして、本機を選ぶ。**  
あらかじめ、本機の“Network Control”設定 ([p.20 ページ](#)) を“On”にしてください。

#### ご注意

“Network Control”を“On”に設定すると、スタンバイ時の待機電力は“Off”に設定しているときより多く消費します。



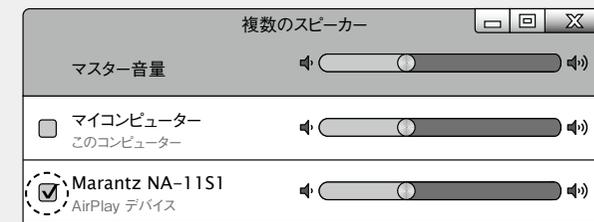
**3 iTunes で曲を選んで再生する。**  
本機で再生をはじめます。

### 複数のスピーカー（機器）を選択する

ご家庭にある本機以外の AirPlay 対応のスピーカー（機器）で iTunes の曲を再生できます。

**1 AirPlay アイコン  をクリックして、“複数のスピーカー”を選ぶ。**

**2 再生したいスピーカー（機器）をクリックする。**



## □本機のリモコンで iTunes の再生操作をおこなう

本機のリモコンで、iTunes の曲の再生や一時停止、頭出し操作がおこなえます。

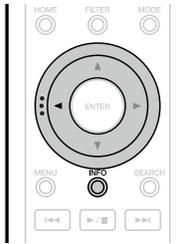
**1** メニューの“編集”⇒“設定”を選ぶ。

**2** iTunes の設定のウィンドウで“デバイス”を選ぶ。

**3** “リモートスピーカーから iTunes のコントロールを許可する”にチェックを入れ、“OK”をクリックする。



- AirPlay の再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に“AirPlay”に切り替わります。
- 本機の ◀ を押すか他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- **INFO** を押すと、アルバム名とアーティスト名を確認できます。
- iTunes の使用方法は、iTunes の“ヘルプ”をご覧ください。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。
- AirPlay 再生中に、USB 端子に AirPlay をおこなっている iPod を接続すると、AirPlay 再生は停止します。



## Remote play 機能

本機は DLNA(Digital Living Network Alliance) Ver. 1.5 規格に準拠しています。ご家庭のネットワークを使用してパソコンや NAS、スマートフォン、ポータブルオーディオプレーヤに保存している音楽ファイルを DLNA の機能を使って本機で再生できます。

このとき、操作はパソコン、スマートフォンまたはポータブルオーディオプレーヤで操作します。



- それぞれの機器が DLNA の Ver. 1.5 規格に準拠している必要があります。
- スマートフォンやポータブルオーディオの再生にはワイヤレス LAN の環境が必要です。
- スマートフォンによっては、DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要がある場合があります。

### □それぞれの機器の役割

Remote play 再生には次の機器を使用します。DLNA 規格上、それぞれの役割によって DMC、DMS、DMR と呼びます。

呼称	機器例	役割
DMC (Digital Media Controller)	•パソコン •スマートフォン •ポータブルオーディオプレーヤ	Remote play 再生の操作をします。 これらの機器に保存している音楽ファイルを再生することもできます。
DMS (Digital Media Server)	•パソコン •NAS (Network Attached Storage)	音楽ファイルの保存をします。 DMC でこれらの機器に保存している音楽ファイルを再生操作します。
DMR (Digital Media Renderer)	•本機	Remote play で再生した音楽ファイルをスピーカーから出力します。再生操作はできません。

### □再生できるファイルについて

“知っておいてほしいこと” ⇨ “ミュージックサーバー機能について” ([146 ページ](#)) をご覧ください。

## それぞれの機器に必要な設定

Remote play 再生をおこなうために、DMC と DMS の設定が必要です。次の設定をおこなってください。なお、設定については各機器の取扱説明書をご覧ください。

### □パソコンや NAS の設定

パソコンや NAS が DMS 機器や DMR 機器とデータのやり取りができるように設定をします。

設定の方法は、「メディアの共有設定をおこなう」([127 ページ](#)) をご覧ください。

### □スマートフォンの設定

スマートフォンから DMS や本機 (DMR) を操作するために、スマートフォンに DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要があります。これらの適応アプリはスマートフォンによって異なります。



一部のスマートフォンでは初めから DLNA 音楽再生に対応している機種もあります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

### □ポータブルオーディオプレーヤの設定

ポータブルオーディオプレーヤの音楽ファイルを本機 (DMR) で再生するための設定をおこなってください。設定のしかたは、各ポータブルオーディオプレーヤの取扱説明書をご覧ください。

### □本機の設定

DLNA ネットワークに接続してください。それ以外の設定の必要はありません。

ネットワークの接続については、付属の「簡単セットアップガイド」、「ホームネットワーク(LAN)に接続する」([11 ページ](#)) または「ネットワークの設定 [Network]」([18 ページ](#)) をご覧ください。

## □Remote play の操作

操作のしかたは、それぞれの機器によって異なりますが、Remote play のための準備の手順は同じです。ここでは準備する手順を説明します。

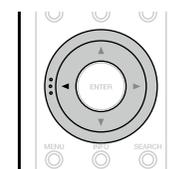
- 1 本機の電源をオンにする。**
  - 本機がネットワークに接続できることを確認してください。
- 2 DMC の音楽ファイル再生画面を表示する。**
  - パソコンの場合は、Windows Media Player12 などを開く。
  - スマートフォンの場合は音楽ファイル再生モードに切り替える。
- 3 再生画面の再生機器を設定する項目で、本機のフレンドリーネームを選ぶ。**
  - 本機のお買い上げ時のフレンドリーネームは”Marantz NA-11S1”です。
- 4 DMC で音楽ファイルの再生をはじめます。**
  - 本機のファンクションが自動的にミュージックサーバーに切り替わり、ディスプレイに  を表示して Remote play をはじめます。

### ご注意

Remote play 中に本機で再生操作はできません。DMC 機器で操作してください。

## □Remote play を終了するには

- ◀ を押す。
- Remote Play モードを解除します。



## ウェブコントロール機能

ブラウザに表示されるウェブコントロール画面を使用して、本機を操作できます。



- ウェブコントロール機能をお使いになるには、本機とパソコンがネットワークに正しく接続されている必要があります(11ページ「ホームネットワーク(LAN)に接続する」)。
- セキュリティソフトなどの設定により、パソコンから本機にアクセスできないことがあります。そのような場合には、セキュリティソフトの設定を変更してください。

### 1 メニューの“Network Control”(20ページ)を“On”にする。

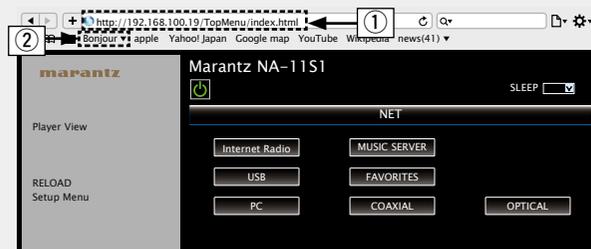
### 2 メニューの“Network Information”で、本機のIPアドレスを確認する。



### 3 ブラウザを起動する。

### 4 ブラウザのアドレスに、本機の IP アドレスを入力する。

例えば、本機の IP アドレスが“192.168.100.19”の場合は、“http://192.168.100.19/”と入力してください。

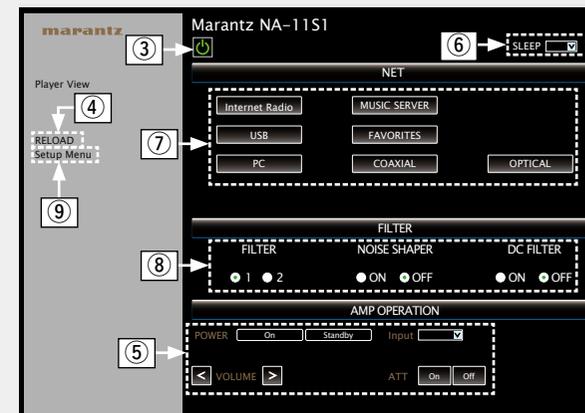


#### ① IP アドレスを入力します。

- ブラウザのブックマーク機能で本機の IP アドレスを登録しておくと、次回からブックマーク機能を使用してウェブコントロール画面を表示できます。ただし、DHCP サーバーをご使用の場合は、“Network Control”(20ページ)の設定が“Off”のときに電源をオン / オフすると、IP アドレスが変更になりますのでご注意ください。

#### ② Safari ブラウザを使用する場合は、“Bonjour”を選択するとウェブコントロール画面に直接アクセスできます。

### 5 トップメニューが表示されたら、操作したいメニューをクリックする。



#### ③ 本機の電源操作時にクリックします。

#### ④ 最新の情報に更新するときをクリックします。通常は操作するたびに、最新の情報に切り替わります。本体側で操作された場合は、画面は更新されませんので、クリックしてください。

#### ⑤ リモートコントロール接続ケーブルで接続しているマランツ製アンプの操作ができます(12ページ)。

#### ⑥ “v”をクリックし、スリープタイマー機能を設定します。

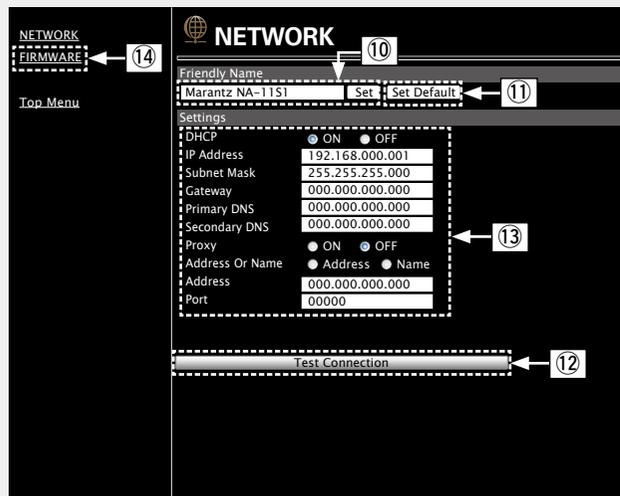
#### ⑦ ボタンをクリックすると、入力ソースが切り替わります。

#### ⑧ ボタンをクリックし、フィルターを設定します。

#### ⑨ セットアップメニューを操作するときをクリックします。

## 6 操作する。

## 【ネットワーク設定】



Friendly Name(フレンドリーネーム)の設定

- ⑩ フレンドリーネームを変更するとき、テキストボックスに新しいフレンドリーネームを入力し、“Set”押す。
- ⑪ フレンドリーネームをリセットするとき、“Set Default”を押す。

ネットワーク接続設定

- ⑫ 新しい設定を反映させるときに押す。
- ⑬ DHCP/Proxy の設定を変更するとき、各項目を入力または選択する。
- ⑭ ファームウェア更新時にクリックします (16 ページ)。

**ご注意**

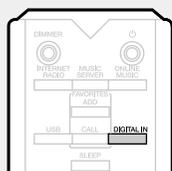
- 選択項目や接続状態により表示される項目が変わります。
- 各項目を選択したあとは、表示が更新されるまでしばらくお待ちください。
- ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に“Test Connection”を押してください。

## D/A コンバーター機能で再生する

外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機でアナログ変換して出力することができます(D/A コンバーター機能)。

### デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)

**DIGITAL IN** を押して、入力ソースを“Coaxial”または“Optical”にする。



- 入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

“Coaxial PCM xxxx kHz” または “Optical PCM xxxx kHz”  
(xxxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Signal Unlock”を表示します。

#### ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、128kHz、176.4kHz および 192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モード→B モードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1～2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります

### パソコンと接続して再生する(USB)

本機では、PCM 信号と DSD 信号の再生が可能です。

#### 専用ドライバーのインストール

パソコン内に保存されている音楽ファイルを本機で再生するには、あらかじめマランツウェブサイトから専用ドライバーをダウンロードし、パソコンにインストールする必要があります。ただし、Mac OS ではドライバーのインストールは不要です。

#### ご注意

- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。また、OS に Windows XP をお使いの場合、パソコンの動作が著しく遅くなり、パソコンの再起動が必要になる場合があります。
- パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。

#### パソコン(推奨システム)

##### OS

- Windows® XP Service Pack3、Windows® Vista、Windows 7 および Windows 8
- Macintosh® OSX 10.6.3 以降

##### ソフトウェア

- Windows Media Player® と iTunes をサポートしています。

##### USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class V2.0

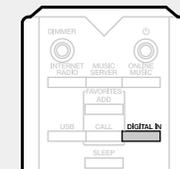


- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 と Windows 8 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

#### 接続

本機のリアパネルの USB 端子にパソコンを接続してください。接続のしかたは“パソコンとの接続”(P.10 ページ)をご覧ください。

**DIGITAL IN** を押して、入力ソースを“PC”にする。



入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

“PC PCM xxxx kHz” または “PC DSD xxxx MHz”  
(xxxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Signal Unlock”を表示します。
- 本機表示が“PC/PCM xxxxkHz”と表示したのち、約10秒間待ってから、パソコンの音楽再生ソフトを起動し操作してください。本機がD/Aコンバーターとして機能します。

#### ご注意

- 再生、停止などの操作は、パソコンで操作してください。このとき本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- パソコンでは、ボリュームおよびイコライザーの調整も操作できます。お好みの音量でお楽しみください。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音は出ません。
- パソコンの音楽再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続を外すと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続を外してください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 対応サンプリング周波数は、32/44.1/48/64/88.2/96/176.4/192 kHz(PCM) と 2.8224MHz(DSD) です。
- 音楽再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には 3m 以下のケーブルをお使いください。
- ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“USB High Speed Audio”のフォーマットが“192000.0 Hz”以下に設定されているか、確認してください。



## カーソルボタンで入力する

- 1 文字の入力をおこなう画面を表示する。
- 2 ◀ ▶ を押して、変更したい文字にカーソルを合わせる。
- 3 △ ▽ を押して、文字を変更する。



- 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

【英小文字】  
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

【英大文字】  
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

【記号】 ! " # \$ % & ' ( ) \* + , - . / : ; < = > ? @ [ \ ] ^ \_ ` { | } ~

【数字】 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (空白)

- 文字を削除する場合は **CLEAR** を押してください。
- スペースを入れる場合は ▶▶ を押してください。

- 4 手順 2、3 をくり返して名前を変更し、**ENTER** を押して入力した文字を確定する。

## オートパワーオン機能

- ▶/|| を押す。  
自動的に機器の電源が入り、最後に選択していた入力ソースの再生をはじめます。



## ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。  
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

## 情報編

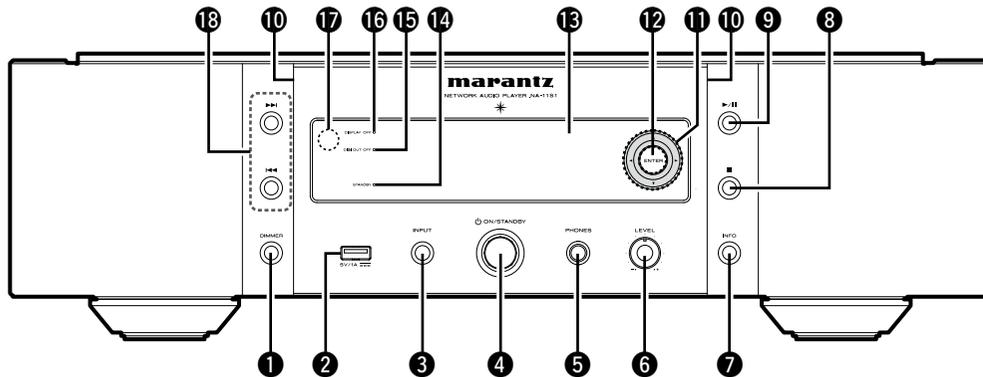
ここでは本機に関するさまざまな情報を記載しています。  
必要に応じてご覧ください。

- 各部の名前  [43 ページ](#)
- その他の情報  [45 ページ](#)
- 用語の解説  [48 ページ](#)
- 故障かな?と思ったら  [49 ページ](#)
- 保証と修理について  [51 ページ](#)
- 主な仕様  [52 ページ](#)
- 索引  [53 ページ](#)

# 各部の名前

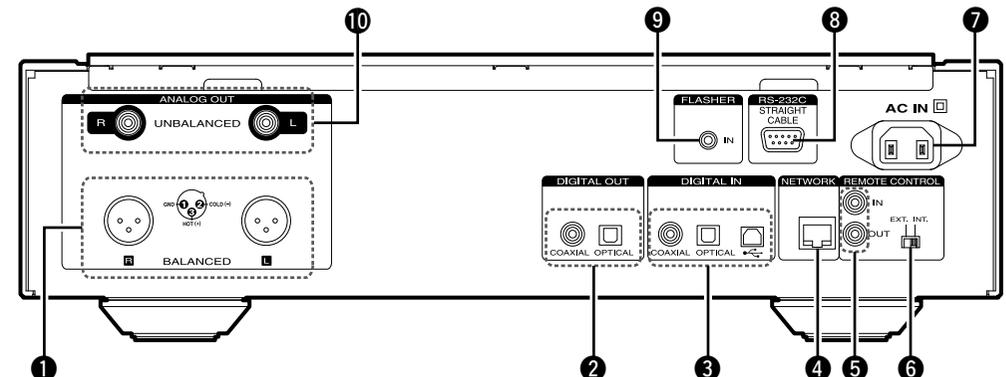
各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページをご覧ください。

## フロントパネル

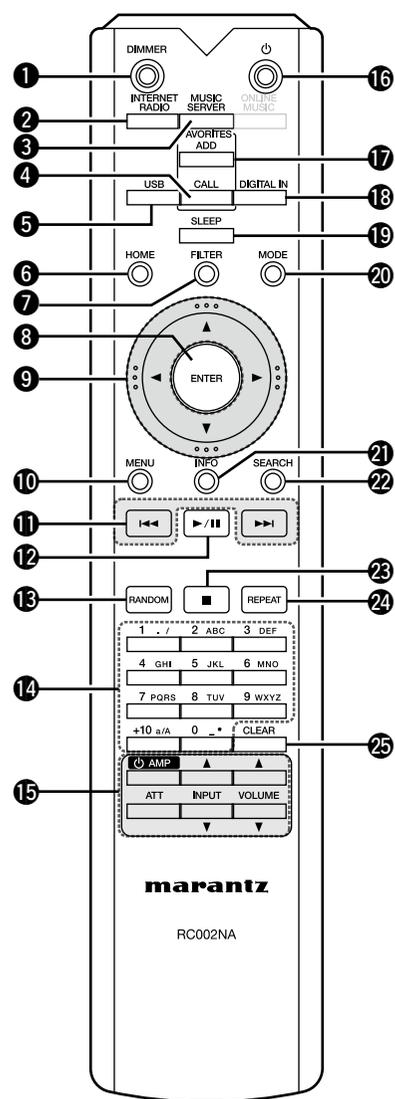


- ① ディマーボタン(DIMMER) .....(25)
- ② USB端子 .....(30, 32)  
iPod または USB メモリーを接続します。
- ③ インプットボタン(INPUT) .....(24, 52)  
入力ソースを選択します。
- ④ 電源スイッチ(ON/STANDBY) .....(24)
- ⑤ ヘッドホン端子 (PHONES) .....(25)  
ヘッドホンを接続します。
- ご注意**  
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- ⑥ ヘッドホン音量調節つまみ (LEVEL) .....(25)
- ⑦ インフォメーションボタン(INFO) .....(26, 28, 31, 33, 52)
- ⑧ ストップボタン(■) .....(26, 28, 30, 33)
- ⑨ プレイ/ポーズボタン (▶/⏸) .....(30, 32, 41)
- ⑩ イルミネーションランプ .....(25)
- ⑪ カーソルボタン (△▽◀▶) .....(14, 15, 18, 21, 26, 29, 30, 32, 40)
- ⑫ エンターボタン(ENTER) .....(14, 15, 18, 21, 26, 29, 30, 32, 40)
- ⑬ ディスプレイ  
再生状態や設定などを表示します。
- ⑭ 電源表示 .....(24)  
本機の状態により次のように変わります。
  - 電源オン時：消灯
  - 電源スタンバイ時：赤色
  - “Network Control” の設定  
⇨ “On” : オレンジ色
  - iPod の充電スタンバイ時：オレンジ色
- ⑮ Digital out off indicator (DIGI. OUT OFF) .....(21)
- ⑯ DISPLAY OFF indicator .....(25)
- ⑰ リモコン受光部 .....(7)
- ⑱ スキップ/サーチボタン (◀◀, ▶▶) .....(29)

## リアパネル



- ① アナログ音声バランス出力端子 (ANALOG OUTPUT BALANCED) .....(9)
- ② デジタル音声出力端子 (DIGITAL OUTPUT) .....(10)
- ③ デジタル音声入力端子 (DIGITAL INPUT) .....(10)
- ④ ネットワーク端子 (NETWORK) .....(11)
- ⑤ リモートコントロール入出力端子 (REMOTE CONTROL IN/OUT) .....(12)
- ⑥ エクスターナル/インターナルスイッチ (EXT./INT.) .....(12)
- ⑦ ACインレット (AC IN) .....(13)
- ⑧ RS-232C端子 .....(12)
- ⑨ フラッシャーイン端子 (FLASHER IN) .....(12)
- ⑩ アナログ音声アンバランス出力端子 (ANALOG OUTPUT UNBALANCED) .....(9)



- ① ディマーボタン(DIMMER) ..... (25)
- ② インターネットラジオボタン  
(INTERNET RADIO) ..... (24, 26)
- ③ ミュージックサーバーボタン  
(MUSIC SERVER) ..... (24, 28)
- ④ お気に入り呼び出しボタン  
(FAVORITES CALL) ..... (26, 28, 29)
- ⑤ USBボタン ..... (24, 30, 32)
- ⑥ ホームボタン (HOME) ..... (14)
- ⑦ フィルターボタン(FILTER) ..... (25)
- ⑧ エンターボタン (ENTER)  
..... (14, 15, 18, 21, 26, 29, 30, 32, 40)
- ⑨ カーソルボタン (Δ▽◀▷)  
..... (14, 15, 18, 21, 26, 29, 30, 32, 40)
- ⑩ メニューボタン (MENU)  
..... (14, 15, 18, 21, 26, 28)
- ⑪ スキップ/サーチボタン (I<<<, >>>I)  
..... (28, 29, 30, 33)
- ⑫ プレイ/ポーズボタン (▶/⏸)  
..... (30, 32, 41)
- ⑬ ランダムボタン (RANDOM)  
..... (28, 30, 32)
- ⑭ 数字/キャラクターボタン  
(0~9、+10) ..... (26, 40)
- ⑮ アンブ操作用のボタン  
アンブ用電源ボタン(⏻AMP)  
アッテネートボタン(ATT)  
入力ソース選択ボタン(▲▼)  
音量調節ボタン(▲▼)
- ⑯ 電源操作ボタン(⏻) ..... (24)
- ⑰ お気に入り登録ボタン(FAVORITES ADD)  
..... (26, 28, 29)
- ⑱ デジタル入力選択ボタン(DIGITAL IN)  
..... (24, 39)
- ⑲ スリープボタン(SLEEP) ..... (25)
- ⑳ モードボタン(MODE) ..... (30)
- ㉑ インフォメーションボタン(INFO)  
..... (26, 28, 31, 33, 35)
- ㉒ サーチボタン(SERCH)  
..... (26, 28, 33)
- ㉓ ストップボタン(■)  
..... (26, 28, 30, 33)
- ㉔ リPEATボタン(REPEAT)  
..... (28, 30, 32)
- ㉕ クリアボタン(CLEAR)  
..... (29, 40, 41)

### ご注意

本機では、ONLINE MUSIC ボタンは使用できません。



- このリモコンは、マランツ製品のプリメインアンプを操作できます。
- ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

### ご注意

一部操作ができない製品もあります。

## iPod について



“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance.

AirPlay, the AirPlay logo, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle および iPod touch は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

## USB メモリーについて

USB メモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。

### 知っておいてほしいこと

- 本機は、マストレージクラスおよび MTP (Media Transfer Protocol) に対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーのフォーマットは、FAT16 または FAT32 に対応しています。
- 本機で対応している MP3 ファイルの規格は、MPEG-1 Audio Layer-3 です。
- 本機で再生できるファイルの種類や仕様は、次のとおりです。

#### 【再生できるファイルの種類】

再生できるファイルの種類	USB メモリー *1
WMA (Windows Media Audio)	✓*2
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	✓
WAV	✓
MPEG-4 AAC	✓*3
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	✓
ALAC (Apple Lossless Audio Codec)	✓

\*1 USB メモリーについて

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- \*2 MTP に対応した一部のポータブルオーディオプレーヤーは、著作権保護のあるファイルを再生できます。
- \*3 著作権保護のないファイルのみ再生できます。  
インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリップリングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

#### ご注意

本機でサポートしていないファイルはリストに表示されません。

#### 【再生できるファイルの仕様】

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
WMA (Windows Media Audio)	32/44.1/48 kHz	48 ~ 192 kbps	—	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48 kHz	32 ~ 320 kbps	—	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz	—	16 / 24 bit	.wav
MPEG-4 AAC	32/44.1/48 kHz	16 ~ 320 kbps	—	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz	—	16 / 24 bit	.flac
ALAC (Apple Lossless Audio Codec) *	32/44.1/48/88.2/96 kHz	—	16 / 24 bit	.m4a

\*Copyright [2012] [D&M Holdings, Inc.]

Apache License Version 2.0(「本ライセンス」)に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。  
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

#### ご注意

可変ビットレート(VBR:Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。

## 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目	メディア	USB メモリー
メモリーの容量		FAT16：2GB、 FAT32：2TB
フォルダの階層数 *1		8 階層
フォルダ数		500
ファイル数 *2		5000

\*1 制限数にはルートフォルダを含みます。

\*2 USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

## ネットワークオーディオについて

### 知っておいてほしいこと

#### インターネットラジオ機能について

- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機には、次のインターネットラジオ機能があります。
  - ジャンル別、地域別に選べます。
  - MP3 や WMA (Windows Media Audio) フォーマットのインターネットラジオ放送を聴くことができます。
  - パソコン上の Web ブラウザから当社のインターネットラジオ用の URL にアクセスすると、お気に入りのラジオを登録できます。
- お客様の機器ごとに管理しますので、MAC アドレスや E-mail アドレスの登録が必要になります。  
専用 URL： <http://www.radiomarantz.com>
- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、ラジオ局データベースサービス(vTuner)を使用しています。このデータベースサービスは、本機用に編集および作成されたリストです。

#### ミュージックサーバー機能について

ネットワークを経由して、本機に接続されたパソコン(ミュージックサーバー)に保存された音楽ファイルまたはプレイリスト(m3u、wpl)を再生できます。本機のネットワークオーディオ再生機能は、次の技術を使用してサーバーに接続しています。

- Windows Media Player Network Sharing Service
- Windows Media DRM10

#### 【各機能で再生できるファイルの種類】

	インターネットラジオ	ミュージックサーバー *1
WMA (Windows Media Audio)	✓	✓
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	✓	✓
WAV		✓
MPEG-4 AAC		✓*2
FLAC (Free Lossless Audio Codec)		✓
ALAC (Apple Lossless Audio Codec)		✓

ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

\*1 ミュージックサーバーについて

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500 × 500 (WMA/MP3/WAV/FLAC) または 349 × 349 (MPEG-4 AAC) を超えている場合は、正常に再生できないことがあります。

\*2 著作権保護のないファイルのみ再生できます。

インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

## 【再生できるファイルの仕様】

	サンプリング 周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
<b>WMA</b> (Windows Media Audio)	32/44.1/ 48 kHz	48 - 192 kbps	-	.wma
<b>MP3</b> (MPEG- 1 Audio Layer-3)	32/44.1/ 48 kHz	32 - 320 kbps	-	.mp3
<b>WAV</b>	32/44.1/ 48/88.2/ 96/176.4/ 192 kHz	-	16 / 24 bit	.wav
<b>MPEG-4 AAC</b>	32/44.1/ 48 kHz	16 - 320 kbps	-	.aac/ .m4a/ .mp4
<b>FLAC</b> (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/ 48/88.2/ 96/176.4/ 192 kHz	-	16 / 24 bit	.flac
<b>ALAC</b> (Apple Lossless Audio Codec) *	32/44.1/ 48/88.2/ 96 kHz	-	16 / 24 bit	.m4a

\*Copyright [2012] [D&M Holdings, Inc.]

Apache License Version 2.0(「本ライセンス」) に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。  
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

### ご注意

- 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、お使いの無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。
- 可変ビットレート(VBR : Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。

## A

### AirPlay

iTunes または iPhone/iPod touch に収録されているコンテンツを、ネットワーク経由で対応する機器に転送(再生)する機能です。

### ALAC (Apple Lossless Audio Codec)

Apple 社が開発した音声可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPod, iPhone で再生が可能です。約 60 ~ 70% に圧縮されたデータは完全に元通りのデータに再現できます。

### App Store

アップル社が運営している iPhone や iPod touch 向けのアプリケーションソフトの販売サイトです。

## D

### DLNA

DLNA および DLNA CERTIFIED は Digital Living Network Alliance の商標 / サービスマークです。コンテンツには DLNA CERTIFIED™ 製品と適合しないものがある可能性があります。

### DSD(Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 $\Delta$ -Σ変調されたデジタルオーディオです。2.8224 MHz のサンプリングレートの単一ビット値の配列で構成されています。

## F

### FLAC

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。

FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and

the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## I

### iTunes

アップル社が提供しているマルチメディアプレーヤーの名称です。

音楽をはじめとしてビデオなどのコンテンツを管理・再生できます。AACをはじめとして WAV や MP3 など主要なファイル形式に対応しています。

## M

### MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の1つで、国際的な標準規格です。

映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

### MPEG (Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、 「MPEG-2 Video」、 「MPEG-4 Visual」、 「MPEG-4 AVC」 など

があります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、 「MPEG-2 Audio」、 「MPEG-4 AAC」などがあります。

## V

### vTuner

インターネットラジオの無料オンラインコンテンツサービスです。本サービスに関するお問い合わせは、下記 vTuner のサイトまでお願い致します。

vTuner ホームページ:

<http://www.radiomartantz.com>

本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

## W

### Windows Media DRM

マイクロソフト社が開発した著作権保護技術です。コンテンツプロバイダは、自らのコンテンツ(“セキュアコンテンツ”)の完全性を保護するために、本デバイス(“WM-DRM”)に内蔵された Windows Media 用デジタル権管理技術を使用し、当該コンテンツに対する自らの知的財産権(著作権を含む)が悪用されないようにしています。

本デバイスは、セキュアコンテンツを再生するため、WM-DRM ソフトウェア(“WM-DRM ソフトウェア”)を使用しています。本デバイス内の WM-DRM ソフトウェアのセキュリティがあらゆる場合、セキュアコンテンツの所有者(“セキュアコンテンツオーナー”)は、マイクロソフト社が、セキュアコンテンツをコピー・表示・再生する新たなライセンスを得る WM-DRM ソフトウェアの権利を取り消すよう要請することができます。この取り消しは、保護されていないコンテンツを再生する WM-DRM ソフトウェアの能力には影響がありません。

インターネットまたはパソコンからセキュアコンテンツのライセンスをダウンロードするときはずっと、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストがデバイスに送られます。マイクロソフト社は、セキュアコンテンツオーナーに代わって、当該ライセンスとともに、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストをデバイスにダウンロードできます。

### Windows Media Player Ver. 11

マイクロソフト社が無料で提供しているメディアプレーヤーです。

Windows Media Player ver.11 で作成されたプレイリストや WMA、DRM WMA、MP3、WAV ファイルなどが再生可能です。

### WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)できます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

## さ

### サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

## は

### ビットレート(Bit rate)

ディスクに記録された映像 / 音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。



症状	原因	対策	関連ページ
インターネットラジオが再生できない。	• LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されている。	• 接続状態を確認してください。	<a href="#">11</a>
	• 対応していないフォーマットで放送されている。	• 本機で再生できるインターネットラジオのフォーマットは MP3 と WMA のみです。	<a href="#">46</a>
	• パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいている。	• 接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	—
	• ラジオステーションが放送を停止している。 • IP アドレスが違っている。	• 放送中のラジオステーションを選んでください。 • 本機の IP アドレスを確認してください。	<a href="#">26</a> <a href="#">18</a>
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	• 本機が対応しているフォーマット以外で記録されている。	• 対応しているフォーマットで記録してください。	<a href="#">46</a>
	• 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	• 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	<a href="#">46</a>
“Unsupported” と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力している。	• パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。	—
		• ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“USB High Speed Audio”のフォーマットが“192000.0 Hz”以下に設定されているか、確認してください。	—
NAS に保存した曲が再生できない。	• DLNA サーバー機能が無効になっている。	• DLNA 準拠の NAS をご使用の場合は、NAS の設定で DLNA サーバー機能を有効にしてください。	—
	• DLNA に準拠していない NAS を使用している。	• DLNA に準拠していない NAS をご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。Windows Media Player のメディア共有機能設定をおこない、再生対象フォルダに NAS を追加してください。	<a href="#">27</a>
	• 接続が制限されている。	• 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。	—

症状	原因	対策	関連ページ
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	• パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいている。	• 接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	—
	• パソコンの電源が入っていない。	• 電源を入れてください。	—
	• サーバーが起動していない。 • 本機の IP アドレスが正しくない。	• サーバーを起動してください。 • 本機の IP アドレスを確認してください。	— <a href="#">18</a>
プリセットまたはお気に入りに登録したラジオステーションに接続できない。	• ラジオステーションが放送を休止している。	• しばらく時間をおいてやり直してください。	—
	• ラジオステーションがサービスを停止している。	• 放送中のラジオステーションを選んでください。	—
放送局のリストが表示されない。	• ネットワークへの接続が不安定です。	• ネットワークへ接続し直すか、メニューの“ネットワーク”の設定を再度おこなってください。	<a href="#">11, 18</a>
ディスプレイに“Server Full”または“Connection Down”が表示され、接続できないラジオステーションがある。	• 放送局が混雑しているか、現在放送を休止している。	• しばらく時間をおいてやり直してください。	—
再生中に、音が途切れることがある。	• ネットワークの通信速度が遅いか、通信回線またはラジオステーションが混雑している。	• これは故障ではありません。ビットレートの高い放送データを再生している場合や、通信の状況によっては、音が途切れることがあります。	—
音質が良くない。または再生中にノイズが入る。	• 再生しているファイルのビットレートが低い。	• これは故障ではありません。	—

## 【AirPlay】

症状	原因	対策	関連ページ
iTunes または iPhone/iPod touch 上 に AirPlay のアイコン  が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機とパソコンまたは iPhone/iPod touch が同一のネットワーク(LAN)に接続されていない。</li> <li>iTunes または iPhone/iPod touch が、AirPlay 対応のファームウェアではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンまたは iPhone/iPod touch を本機と同一の LAN に接続してください。</li> <li>最新のファームウェアにアップデートしてください。</li> </ul>	<a href="#">11</a>  <a href="#">15</a>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>iTunes または iPhone/iPod touch を起動したあとに表示される画面で、本機を選択していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>iTunes または iPhone/iPod touch を起動し、表示された画面で AirPlay アイコン  をクリックして、本機を選択してください。</li> </ul>	<a href="#">34</a>
iPhone/iPod touch/iPad で AirPlay 再生時に音が途切れる。または AirPlay 再生ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>iPhone/iPod touch/iPad のバックグラウンドでアプリケーションが起動している。</li> <li>無線接続で再生している場合は、外部の影響を受けている可能性があります。</li> <li>iPhone/iPod touch/iPad のアプリケーションまたは iTunes のバージョンが古い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>iPhone/iPod touch/iPad のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。</li> <li>無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。</li> <li>iPhone/iPod touch/iPad のアプリケーションまたは iTunes を最新のバージョンにアップデートしてください。</li> </ul>	-  -  -

## 【リモコン】

症状	原因	対策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾電池が消耗している。</li> <li>本体から離れすぎているか、角度が良くない。</li> <li>本機とリモコンの間に障害物がある。</li> <li>乾電池の  と  が正しくセットされていない。</li> <li>本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい乾電池と交換してください。</li> <li>リモコンは、本機から約 7 メートルおよび 30° 以内の範囲内で操作してください。</li> <li>障害物を取り除いてください。</li> <li>正しい極性でセットしてください。</li> <li>受光部に強い光があたらない場所に設置してください。</li> </ul>	<a href="#">2</a>  <a href="#">2</a>  -  <a href="#">2</a>  <a href="#">2</a>

## 保証と修理について

### □保証書について

この製品には保証書が添付されています。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

### 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

### 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

### □修理を依頼される時

#### 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

#### 修理を依頼される時

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼される時のために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

### □依頼の際に

#### 連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名 …… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号 … 保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

### □補修部品の保有期間

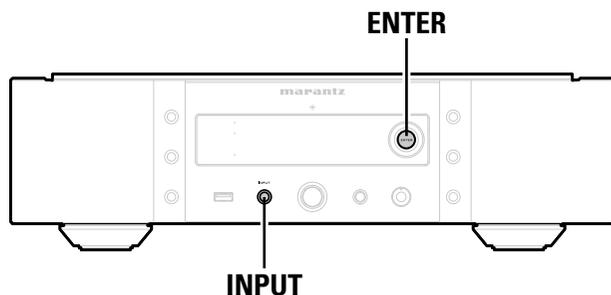
本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

### □お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## マイコンの初期化

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。  
マイコンを初期化すると、各設定内容がすべてお買い上げ時の設定になります。



**1** 電源コードをコンセントから抜く。

**2** ENTER と INPUT を同時に押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む。

**3** 電源表示部が点灯したら、ボタンから指を離す。  
ディスプレイに“Initialized”を表示します。



手順 3 で“Initialized”を表示しない場合は、もう一度手順 1 からやり直してください。

## 主な仕様

### □ オーディオ特性総合

- アナログ出力
  - チャンネル: 2チャンネル
  - 再生周波数範囲: 2Hz~96kHz
  - 再生周波数特性: 2Hz~50kHz (-3dB)  
(DSD モード, PCM サンプリング周波数: 192kHz)  
2Hz~20kHz  
(PCM サンプリング周波数: 44.1kHz)
  - SN比: 110dB (可聴帯域)
  - ダイナミックレンジ: 110dB (可聴帯域)
  - 高調波歪率: 0.001% (1kHz, 可聴帯域)
  - 出力レベル
    - アンバランス出力: 2.3V RMS Stereo
    - バランス出力: 4.6V RMS Stereo
    - ヘッドホン出力: 30mW/32Ω (可変最大)
- デジタル出力
  - 同軸出力 (ピンジャック): 0.5Vp-p
  - 光出力 (角型光コネクタ): -19dBm
- デジタル入力
  - 同軸出力 (ピンジャック): 0.5Vp-p
  - 光出力 (角型光コネクタ): -27dBm 以上
  - USB (フロント): USB Type A (USB 2.0 High speed)
  - USB (リア): USB Type B (USB 2.0 High speed)

### □ 総合

- 電源電圧 / 周波数: AC 100V 50/60Hz
- 消費電力: 50W (電気用品安全法による)
- 待機時消費電力: 0.4W
- 待機時消費電力
- “Network Control”設定 ⇨ “On”時: 3W

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

- 本機は国内仕様です。必ず AC 100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。



## 索引

<b>A</b>	
AirPlay	34, 48
ALAC	45, 46, 48
App Store	7, 34, 48
Auto-Standby(オートスタンバイ)	15
<b>D</b>	
D/A コンバーター機能	10, 39
DC Filter(DC フィルター)	21
DLNA	48
DSD	39, 48
<b>E</b>	
EXTERNAL	12
<b>F</b>	
FLAC	45, 46, 48
Friendly Name(フレンドリーネーム)	20
<b>G</b>	
Gateway	18
<b>I</b>	
INTERNAL	12
IP Address	18
iPod の充電	31
iPod を取り外す	31
iTunes	34, 48
<b>M</b>	
MP3	45, 46, 48
MPEG	48
MPEG-4 AAC	45, 46, 48
<b>N</b>	
Network Control(ネットワークコントロール)	20
Network(ネットワーク)	18
DHCP	18
Friendly Name(フレンドリーネーム)	20
Network Control(ネットワークコントロール)	20
Proxy(プロキシ)	19
<b>P</b>	
Phase(位相の切り替え)	22
Primary DNS	18
Proxy(プロキシ)	19

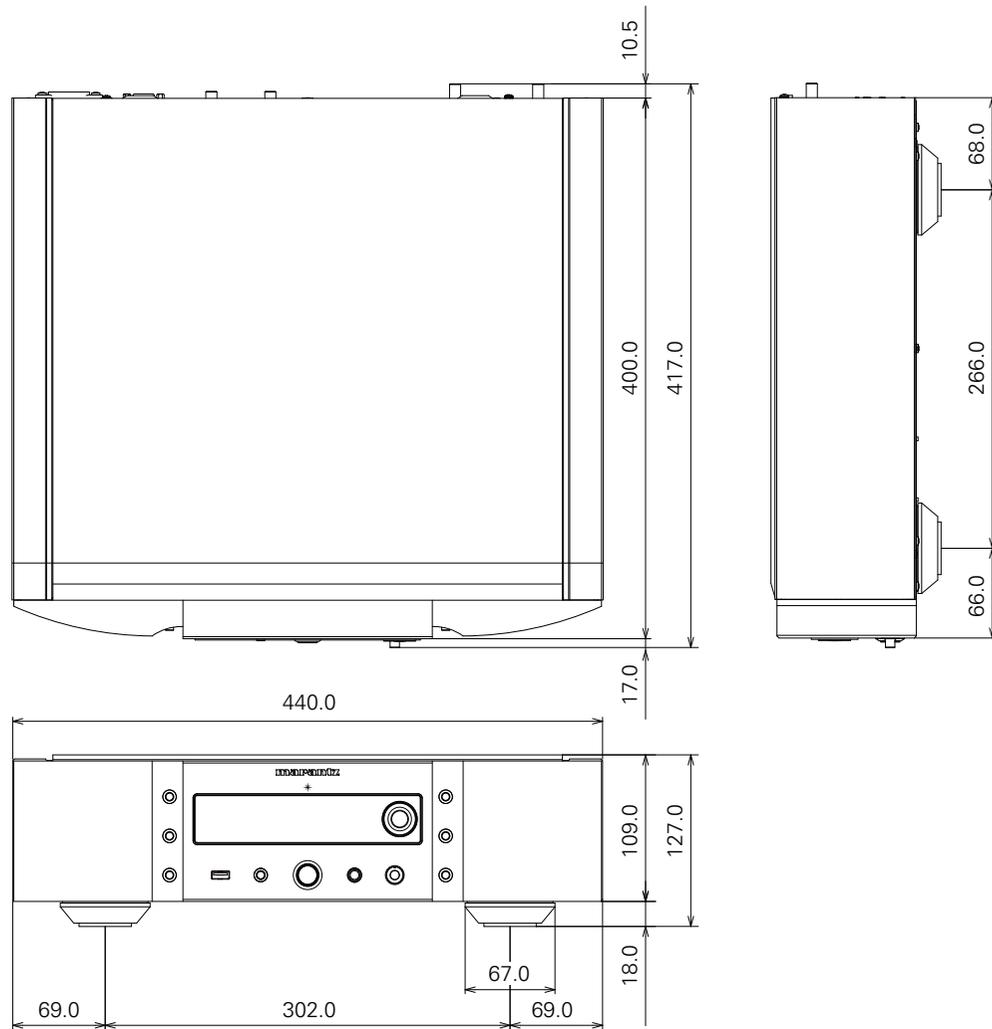
<b>S</b>	
Secondary DNS	18
Subnet Mask	18
<b>V</b>	
vTuner	46, 48
<b>W</b>	
WAV	45, 46
Windows Media DRM	46, 48
Windows Media Player	27, 48
WMA	45, 46, 48
<b>い</b>	
インターネットラジオ	26, 46
<b>う</b>	
ウェブ画面でのアップデート	15
ウェブコントロール機能	37
<b>お</b>	
オーディオ	
DC Filter(DC フィルター)	21
Phase	22
Digital Out(デジタル出力)	21
Noise Shaper(ノイズシェーパー)	21
お気に入りリスト	29
<b>け</b>	
ケーブル	
iPod ケーブル	9, 30
LAN ケーブル	9, 11
USB ケーブル	9, 10
音声ケーブル	9
同軸デジタルケーブル	9, 10
バランス音声ケーブル	9
光伝送ケーブル	9, 10
モノラルミニプラグケーブル	9, 12
リモートコントロール接続ケーブル	9, 12
結露	5

<b>さ</b>	
再生	
ALAC	45, 46
FLAC	45, 46
iPod	30
MP3	45, 46
MPEG-4 AAC	45, 46
NAS	28
Remote play 機能	36
USB メモリ	32, 45
WAV	45, 46
WMA	45, 46
インターネットラジオ	26
ネットワークオーディオ	26
パソコン	28
ミュージックサーバー	28
ランダム	28, 30, 32, 33
リピート	28, 30, 32, 33
サンプリング周波数	45, 47, 48
<b>し</b>	
初期設定 [Quick Setup]	15
<b>す</b>	
スリープタイマー	25
<b>せ</b>	
接続	
FLASHER IN	12
RS-232C	12
アナログ接続(アンバランス)	9
アナログ接続(バランス)	9
デジタル	10
電源コード	13
パソコン	10
ホームネットワーク(LAN)	11
リモートコントロール	12
<b>た</b>	
対応している iPod/iPhone	31
ダイレクトモード	30
<b>て</b>	
ディスプレイの明るさ	25
デジタル出力設定	21
電源を入れる	24

<b>に</b>	
入力ソース	24
<b>の</b>	
Noise Shaper(ノイズシェーパー)	21
<b>ひ</b>	
ビットレート	45, 47, 48
<b>ふ</b>	
ファームウェア	
Add New Feature(新機能の追加)	17
Notification(通知)	16
Update(アップデート)	15
フィルター特性	25
付属品	5
フロントパネル	43
<b>へ</b>	
ヘッドホン	25, 43
<b>ま</b>	
マイコンの初期化	52
<b>み</b>	
ミュージックサーバー	28, 46
<b>め</b>	
メニュー一覧	14
メニュー操作	14
<b>も</b>	
文字入力	40, 41
<b>り</b>	
リアパネル	43
リモートコントロール接続	12
リモートモード	30
リモコン	7, 44
乾電池の入れかた	7

# 寸法

単位：mm



質量：14.6kg

# marantz®

お客様ご相談センター

☎ 0570 (666) 112

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

IP 電話をご利用の場合など、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。その場合は 03 (3570) 5138 におかけください。

受付時間 9:30 ~ 17:30  
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&M ビル

修理に関するお問い合わせは、  
添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。

<http://www.marantz.jp>